

2022年度 報告書



一般社団法人日本昔ばなし協会

全国15カ所の「海ノ民話のまち」で海洋教育

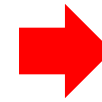
全国の海の学びをいまに伝える「海ノ民話」を選定し、「日本昔ばなし」製作チームがアニメ化。地域の学びを海洋教育コンテンツとして、再び生命を吹き込む。

全国10自治体を認定し**表敬訪問**



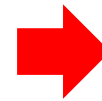
認定自治体の首長を表敬し、「海ノ民話のまち」として認定

昔ばなしクリエイターが**アニメ製作**



作品DVD自治体に配布、様々な教育現場で活用

全国の様々な施設で**上映会を実施**



上映会とフィールドワークを実施し地域に密着した海の学びを提供

各地域での**商品開発と二次的展開**



アニメのデザインを応用した商品開発や、二次的展開が多数

2018年度

『新編の風評さま』
北海道 青森市
宇賀：海と風との付き合い方

『島の伝』
徳島県 香南市
宇賀：津波の記憶と防災の意識

『おなべ男』
静岡県 山形市
宇賀：海のおみへの感謝

『高麗島の伝説』
高知県 高知市
宇賀：海のおみえ、災害の記憶を
読み取る歴史の必要性

『海の神と恋の神』
沖縄県 北谷町
宇賀：お美の由来、付き合い方

2019年度

『大黒神のアツビ祭り』
宮城県 七ヶ浜町
宇賀：海に生きる人々の集結

『お坊さんの伝説』
徳島県 美波町
宇賀：海のおみえとお美の由来

『おたるがした』
静岡県 山形市
宇賀：災害と防災

『一足島』
静岡県 金谷町
宇賀：海と島の成り立ち

『真流島伝説』
沖縄県 美浜町
宇賀：海で繋がる異文化

2020年度

『お美と藤子』
徳島県 香南市
宇賀：お美の伝説

『五郎と弁天様』
神奈川県 藤沢市
宇賀：災害と防災

『島の伝』
静岡県 金谷町
宇賀：水産資源の保全

『ササエと弁天様の女神様』
徳島県 美波町
宇賀：海のおみえの大切さ

『お美と藤子のやり神』
徳島県 香南市
宇賀：お美の伝説と
災害と防災意識

『お美になったクジラ』
大分県 津久喜市
宇賀：海がもたらす恵

『えびさきとにわとり』
徳島県 美波町
宇賀：海水浴のお美と
危険な海の沖

『大黒島と小黒島』
静岡県 藤枝市
宇賀：

『八幡宮の神威』
徳島県 美波町
宇賀：

『長者と河太郎』
徳島県 美波町
宇賀：

『お美のついで』
徳島県 香南市
宇賀：海と人々の付き合い方

『くじらの大話』
徳島県 香南市
宇賀：海のお美と危険な沖

『福止地蔵』
徳島県 美波町
宇賀：海と地元の歴史のつながり
海と人々の付き合い

『天のかけ橋と金縛り』
宮城県 青森市
宇賀：海と地元の歴史のつながり
海のお美と危険な沖

『お美のはなれ小僧さん』
徳島県 香南市
宇賀：海と人々の付き合い

『島のつづらと金の洞』
徳島県 香南市
宇賀：海と地元の歴史のつながり

『ペンパはん』
徳島県 香南市
宇賀：お美の伝説と海と防災意識

『クジラのおみえり』
徳島県 香南市
宇賀：海と防災意識による危険性

『クジラのおみえり』
徳島県 香南市
宇賀：海と防災意識による危険性

2022年度

『折居婆さんと鯨』
北海道 江刺市
宇賀：

『鮫川のサメ伝説「化身した黄金の鮫」』
徳島県 折戸川村
宇賀：

『龍王の子の約束』
千葉県 長狭町
宇賀：

『虹が島の大蛇』
徳島県 美波町
宇賀：

『娘に化けた大ウナギ』
山形県 鶴岡市
宇賀：

『影ワニ』
徳島県 大島町
宇賀：

『お美』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

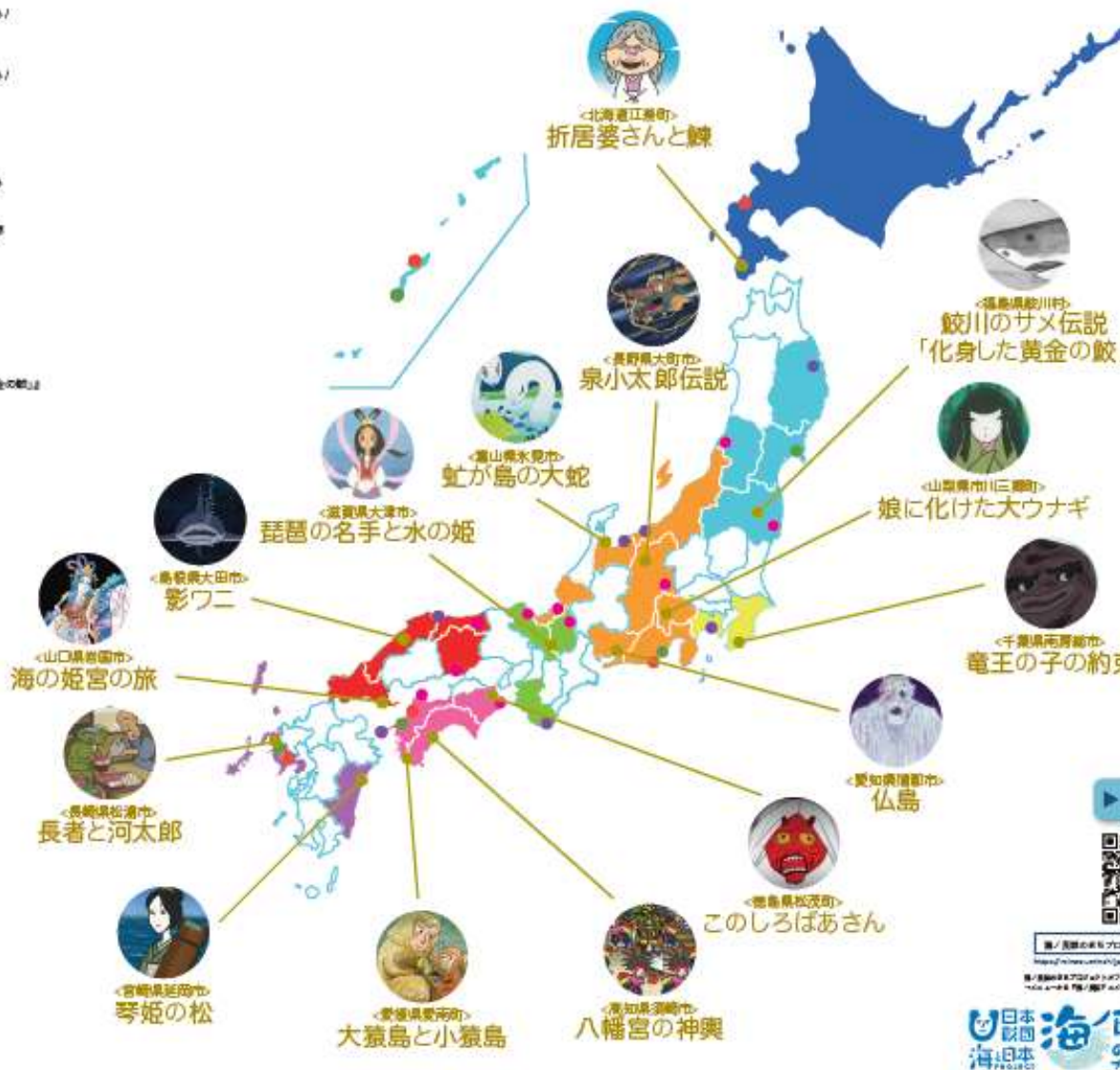
『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：

『お美の伝説』
徳島県 香南市
宇賀：



表敬訪問

認定表敬訪問

■ 認定表敬訪問スケジュール

エリア	民話名	実施日	時間	場所
北海道	折居婆さんと鯁	8/12 (金)	13:00	江差町役場 会議室
福島県	鮫川のサメ伝説 (仮) 「化身した黄金の鮫」	9/26 (月)	11:00	鮫川村役場2階会議室
千葉	竜王の子の約束	7/21 (木)	11:30	南房総市役所 (富浦本庁) 本館第3会議室
富山	虻が島の大蛇	8/3 (水)	11:00	氷見市役所
山梨	娘に化けた大ウナギ	8/31 (水)	14:00	市川三郷町役場
長野県	泉小太郎伝説	9/2 (金)	11:00	大田市役所本庁舎2階庁議室
愛知	仏島	7/5 (火)	11:00	蒲郡市役所
滋賀県	琵琶の名手と水の姫	8/1 (月)	11:00	大津市役所市長室
島根	影ワニ ok	7/25 (月)	10:00	大田市役所 2階応接室
山口	海の姫宮の旅	7/26 (火)	11:00	岩国市役所 3階 市長応接室
徳島県	このしろばあさん	9/22 (木)	11:00	松茂町役場 応接室
愛媛県	大猿島と小猿島	8/18 (木)	11:00	愛南町役場2階会議室
高知	八幡宮の神輿	6/29 (水)	13:15	須崎市役所 市長室
長崎	長者と河太郎	8/5 (金)	15:30	松浦市役所庁舎内
宮崎	琴ひきの松	10/3 (月)	11:00	延岡市役所 市長応接室

認定表敬訪問

北海道江差町

<町長コメント>

今、地域の皆さんが一丸となって稚魚の放流等を行いニシンの数を戻そうとしている。今回の民話を見た子どもたちが民話のストーリーをしっかりと感じ取り、現在行われている活動を知ってもらえると嬉しいと思います。



福島県鮫川村

<村長コメント>

昔話から学ぶことは多いため、アニメを通して青少年の教育活動にもつなげ、PRや行動にも活用していきたいです。

鮫川村は海に面していない地域ですが、この海ノ民話のアニメを通して、海とのつながりを再確認することができると思います。きれいな川や海を未来につなげるために、これからも川の上流下流の上流部分として川をきれいにしていきたいです。



千葉県南房総市

<市長コメント>

まずは今回の認定をありがたく思います。海離れが進むなか、海や環境への関心を高める意義のある試みだと思えます。私も子供のころは夏場は時間があれば海に行き楽しんでいましたが、最近は海は危ないから近寄らないように、という親御さんもいらっしやり、悲しいことです。私たちはそういう状況をかえていきたいと思っています。暮らしのなかで海、自然とかかわりの大切さを伝えていくのは我々の責任であると思えます。

私たちの地元に伝わる民話がアニメ化されることにより、より多くの子供たちの目にふれることにより、海への関心を持つ子供が増えるとよいです。先人から伝わる民話にある知恵、教訓を次世代へ語り継ぐことは意義があることだと思います。子供達にはこのアニメを見て想像力をふくらませてほしいです。南房総市の海には一年を通じていろいろな表情があります。海が好きでおいでいただける方も多いためこれからは多くの方に知ってもらいたいです。

恵まれた自然環境を有効に活用してすごしていただきたいと思えます。



認定表敬訪問

富山県氷見市

<教育長コメント>

氷見市の虻が島を海の民話のまちに認定いただき大変うれしく思っている。氷見市では、地元の小学校と協力し、虻が島を守る活動を行っている。アニメーションを活用して、子どもたちが虻が島をさらに知る機会となり、地域の歴史を継承してほしい。



山梨県市川三郷町

この度は、市川三郷町を海ノ民話のまちに認定頂き、ありがとうございます。このような機会を頂きました海と日本プロジェクト、海ノ民話のまちプロジェクトを推進する日本財団様にはこの場を借りて御礼申し上げます。今回認定されました民話「娘に化けた大ウナギ」は市川三郷町の中でも旧三珠町に残る民話です。市川三郷町をはじめ、山梨県には、海はありませんが、ウナギは海で生まれ、川を遡上し、かつては山梨県までできていたとされています。海の文化に少しでも関わりのあるこういった民話を大切に、民話のメッセージを後世に伝えていくことが、市川三郷町から海に目を向けるための一つの大きなきっかけになり、海がない山梨から海を守ることに繋がると考えます。昨年、海と日本プロジェクトへも寄稿させて頂きましたが、山梨県人にとって海への憧れは絶対です。日本三大急流のひとつである富士川の上流町として水資源を大切に利用させていただき、同時にその質を守る必要性を認識しています。



長野県大町市

この度は、海ノ民話のまちプロジェクトの対象として、全国15のエリアの一つに大町市の「泉小太郎伝説」を認定いただき、心から御礼申し上げます。この大町市は、古くから伝わる民話の宝庫であり、それらを収集して民話の本として記録に残すとともに、市内各地で次代を担う子供たちや大人のために、地域の文化を語り継ぐ市民活動が盛んにおこなわれております。「泉小太郎伝説」は長野県民の皆様にとっても、馴染みの深い伝説です。長野県に海はありませんが、この雄大な北アルプスの麓、大町で生まれた豊かな水が高瀬川、そして犀川へと流れ大地を潤し日本海へと続いております。そして、豊富な森で育てられたミネラルや栄養が海へと運ばれ、魚を育て、漁場や環境に大きな恵みを与えていることを考えますと、やはりこの「泉小太郎伝説」の民話と重なり、遠くの海に思いをはせる、そんなきっかけになるのではないかと期待しております。この「泉小太郎伝説」もアニメを通して、大町の子供たちが地域のこと、あるいは水の大切さ、あるいは海に繋がっている川の役割というものについて学ぶことは、ふるさと大町への愛着と誇りにもつながるものと考えております。良い作品が出来上がりますことを期待するとともに、出来上がったあかつきには様々な分野で子供たち、そして市民の皆さんに受け止めてもらえるような取り組みを進めてまいります。古くから大切に語り継がれてきた民話が、アニメという子供たちに親しみやすい形で、そして映像で伝えることを楽しみにしております。



認定表敬訪問

愛知県蒲郡市

<市長コメント>

仏島は、私たちが海水浴を楽しんでいる三河大島の南側にある普段は市民から見えない位置にある島ですが、今回、「海ノ民話のまち」に取り上げていただいたことで、市民の皆さんにも市外の皆さんにも蒲郡を知っていただく機会になるんじゃないかと本当にうれしく思っております。

アニメーションを通して、海の楽しさだけではなくてその怖さというものも同時に感じていただいて海の魅力と共に、これからどうやって海と接するかを考える一つのきっかけになる、そんなプロジェクトになることを期待しています。



滋賀県大津市

<市長コメント>

この度は大津市が海ノ民話のまちに認定され嬉しく思っています。

海のない大津市ではありますが、琵琶湖は多くの市民に親しまれ、豊かな歴史を誇ります。民話を通して、子どもたちに地域の歴史や自然をアニメーションで分かりやすく伝えていく「海ノ民話のまちプロジェクト」に敬意と感謝を申し上げます。子どもたちに、大津市の豊かな歴史や文化をしっかりと受け継いでもらうためにも、民話アニメーションを通じて大津市への誇りと愛着が生まれることを期待します。



島根県大田市

<市長コメント>

日本各地の多くの民話の中から、このたび、大田市の民話が選定されたことについて、大変嬉しく思うとともに、感謝を申し上げます。

大田市は、日本海に面した46kmにも及ぶ海岸線の中に、良好な港や「鳴り砂」で有名な琴ヶ浜などが存在し、綺麗な海を守っていくため、地元の方も積極的に清掃活動等を行っている地域です。

アニメについては、子ども達に表面的な部分だけではなく、物語に込められた先人の教えや思いなどの本質を自分なりに考え、地元の海の豊かさを守る行動に繋げていけるような活用を期待しています。



認定表敬訪問

山口県岩国市

<市長コメント>

山口県初の認定という事で非常に光栄です。日本は海洋国家、山口県も三方を海に開かれており、岩国市も海と共に栄えてきました。美しい海の恩恵に感謝しながら未来につなげていくのが我々の責務です。今回のアニメ化をきっかけに、歴史を守り伝えながら、郷土愛の醸成、ひいては地域の活性化につなげていきたいと思ひます。



徳島県松茂町

<町長コメント>

海岸線が多い松茂町の観光資源は海しかないと言っても過言ではありません。松茂町の海をテーマにした民話をアニメにさせていただけるのはありがたい。海と共に生きる地域の街づくり中で、このアニメを地域の活性化に役立てたいと考えています。



愛媛県愛南町

<町長コメント>

数ある中から愛南町の民話を認定して頂きありがとうございます。私自身は、出身地が町内の別のエリアですので、大猿島と小猿島の話は知りませんでした。後世に残す物語、地元の物語としてもよいと思ひます。愛南町はどこよりも魚が美味しいのが魅力だと思ひます。今後、この物語と美味しい魚で地元産業の活性化と成長をしていってもらったらと思ひます。



認定表敬訪問

高知県須崎市

<市長コメント>

今回の海ノ民話のアニメの中に、須崎の八幡宮の神輿を選んで頂き、本当に光栄です。ありがとうございます。須崎市は昔から港を中心に栄えた町なので海にまつわる昔話がたくさんありますが、そのなかで今回のお話は非常にスケールの大きい話なのでこれを活かして『海のまち須崎』をもっと磨き上げていきたいです。



長崎県松浦市

<市長コメント>

松浦市は、海に関する仕事をする人が多くアジフライの聖地ということもあり、対外的に大きくPRを行っていますが、まさしくアジも海の恵みです。また、鎌倉時代に元の軍が海を渡り攻めてきた元寇の船も海底から見つかっています。松浦と海は、欠かせないつながりがあり、海を大切にする、海に対する想いを多く持ってくれる人を増やす大変素晴らしい取り組みに、感銘を受けています。松浦には美しい砂浜もあり、子どもたちにも海にもっと関心を持ってもらうことで、こうしたプロジェクトを通し人々の意識を変え、豊かな海に戻って欲しいと思っています。



宮崎県延岡市

<市長コメント>

海の豊かさで発展してきた街なので、津波・海の災害について学び、海の恐ろしさ、ありがたさを考えなくてはいけない。今回、全国数ある民話の中から選んでいただいたこと自体が本当に嬉しい。環境問題に取り組む時期でしたので、意義の大きな認定をしていただいたと思っている。このアニメーションは、海の恐ろしさと豊かさを考えさせられる民話なので、今回の認定をアピールのきっかけにしたい。



■ 福島県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
福島中央テレビ	海と日本プロジェクトinふくしま	10/14(金)11:51-11:55 予定	
福島民友新聞社	福島民友	9/27(火) 朝刊	
福島民報新聞社	福島民報	9/27(火) 朝刊	
東白日報	東白日報		
さめがわ豆新聞	さめがわ豆新聞		



2014.9.26 福島民報(第1面)



2014.9.26 福島民報(第4面)

■千葉県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
千葉テレビ放送	モーニングこんぼす	8月2日 6:45~8:00	
毎日新聞	毎日新聞	7月29日	
毎日新聞	毎日新聞WEB	7月29日	https://mainichi.jp/articles/20220729/k00/00m/040/041000c
房日新聞	房日新聞WEB	7月31日	https://bonichi.com/2022/07/31/202480/
東京新聞	東京新聞WEB	8月6日	https://www.tokyo-np.co.jp/article/194237
読売新聞		9月18日	



「海ノ民話のまち」に認定される 南房総 (千葉県)

読売新聞

南房総市が、一般社団法人日本海なし会との「海ノ民話のまち」に認定された。海にまつわる民話をアニメーション化するプロジェクトで、同市管内の「龍王の子の約束」が認定された。千葉県内では初めての、両内務省で、プロジェクトの担い手プロデューサー、酒田のすけさんと南房総市で認定推進担当者が、右側が市長に認定状を手渡された。「龍王の子の約束」のアニメは、月ごころに放送する予定で、同市では好評品と期待する。という。

「海ノ民話のまち」プロジェクトは、日本海なし会「海ノ民話のまち」に認定された。海にまつわる民話をアニメーション化するプロジェクトで、同市管内の「龍王の子の約束」が認定された。千葉県内では初めての、両内務省で、プロジェクトの担い手プロデューサー、酒田のすけさんと南房総市で認定推進担当者が、右側が市長に認定状を手渡された。「龍王の子の約束」のアニメは、月ごころに放送する予定で、同市では好評品と期待する。という。

認定状には酒田市長、市長の挨拶と認定状を授け、南房総市長は酒田市長に感謝状を贈った。酒田市長は「大層ありがたう。海にまつわるプロジェクトと、認定がアニメ化され、多くの人に知れることになり、海への関心を持ってもらえることになり、本当にありがたい。主催は「自分たちが集めてきた民話、いろいろなことで活用されることになり、大変うれしい」と喜んで。



南房総の民話、アニメに「龍王の子の約束」海と人の関わり方に学び

毎日新聞

千葉県南房総市に伝わる民話「龍王の子の約束」がアニメ化されることになった。日本放送（東京放送）が主催するアニメ化プロジェクトの対象作品の1つに選ばれた。年内に完成する見込みという。【同時配信】

「龍王の子の約束」は、南房総市に伝わる民話「龍王の子の約束」がアニメ化されることになった。日本放送（東京放送）が主催するアニメ化プロジェクトの対象作品の1つに選ばれた。年内に完成する見込みという。【同時配信】

アニメ化プロジェクトは、日本放送（東京放送）が主催するアニメ化プロジェクトの対象作品の1つに選ばれた。年内に完成する見込みという。【同時配信】



■千葉県



海ノ民話のまちプロジェクト 千葉県

海ノ民話のまちプロジェクト 千葉県

キャラクターデザイン 泉水 はる佳
(チーフシニアデザイナー)

海ノ民話のまちプロジェクト

“海との関わり”や“地域の誇り”を子どもたちへ
日本各地の海にまつわる民話をアニメーションなどで表現し語り継ぐプロジェクト



海ノ民話のまち

今年度は海にまつわる民話や海に関係している内陸を舞台とした民話が伝承されている
北海道・福島県・千葉県・富山県・山梨県・長野県・愛知県・滋賀県・鳥取県
山口県・徳島県・愛媛県・高知県・長崎県・宮崎県の15エリアを認定

■ 山梨県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
YBSテレビ	やまなしマルシェ	2022年9月16日	https://storyteller.box.com/s/en9hq157fhpbby44nuptih75ief1r27em
山梨日日新聞社	山梨日日新聞	2022年9月1日	
市川三郷町	「広報」いちかわみさと	2022年10月1日	

市川三郷 伝承の民話「大ウナギ」アニメに

日本財団の企画県内初

日本各地に伝承された海にまつわる民話の「海ノ民話のまちプロジェクト」が、今年度、市川三郷町と連携して「大ウナギ」アニメ化の企画が決定した。県内初の「海ノ民話のまちプロジェクト」によるアニメ化が実現する。

市川三郷町では、伝承の民話「大ウナギ」をアニメ化する。このプロジェクトは、日本財団の企画で、県内初のアニメ化となる。市川三郷町の「大ウナギ」は、同町上野地区にある光勝寺の境内の縁に伝承されている。この民話をアニメ化するにあたり、市川三郷町と日本財団が連携し、アニメ化の企画を進めている。

市川三郷町では、伝承の民話「大ウナギ」をアニメ化する。このプロジェクトは、日本財団の企画で、県内初のアニメ化となる。市川三郷町の「大ウナギ」は、同町上野地区にある光勝寺の境内の縁に伝承されている。この民話をアニメ化するにあたり、市川三郷町と日本財団が連携し、アニメ化の企画を進めている。

アニメ化決定!

大ウナギ

登場人物イラスト案

海ノ民話のまちプロジェクト

光勝寺（三珠地区上野）に伝わる民話「娘に化けた大ウナギ」が日本財団「海ノ民話のまちプロジェクト」によりアニメ化されることになりました！アニメは今年の冬に完成予定です。

プロジェクト詳細はこちらから

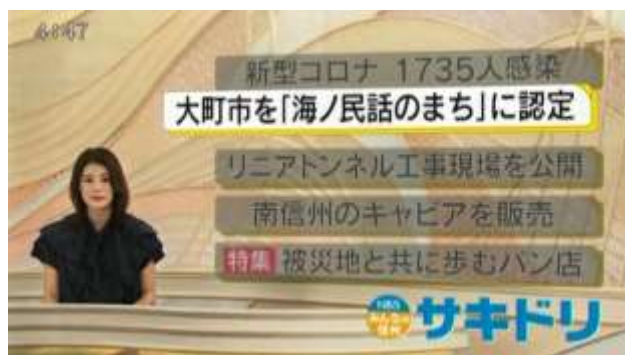
アニメ化にあたり、「海ノ民話のまち」認定証の授与式がありました。（写真：8月31日町役場本庁舎）



掲載日: 2022年09月01日 / 地域 / 産業019
 編集: 記者・写真:イラスト等の無断複製・転載は致しません。Copyright 山梨日日新聞社

■長野県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
番組 (NBS長野放送)	みんなの信州 サキドリ	9/2 (金) 16:45~16:50	
信濃毎日新聞社		9/3	
大糸タイムス		9/3	
大町市ホームページ		9/26	https://www.city.omachi.nagano.jp/00003000/00001500/00001551/202209p.html



■長野県

令和4年9月2日 大町市「海ノ民話のまち」に認定



日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として（一社）日本昔ばなし協会が推進する「海ノ民話のまちプロジェクト」において、泉小太郎伝説が伝わる大町市が「海ノ民話のまち」に認定され、9月2日に市役所で認定証贈呈式が行われました。

同プロジェクトは全国各地の海にまつわる民話を発掘してアニメ化し、民話に込められた思いや教訓を伝えていく取り組みです。県内では小海町に続く2例目の認定で、大町市は「民話の里づくりもんべの会」の語りや伝承などの活動が評価されました。

泉小太郎伝説のアニメは年内に完成予定で、市では地域学習や観光宣伝などに活用します。

■滋賀県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
びわ湖放送	海と日本プロジェクト in滋賀県	8月26日(金) 17:55~18:00	

■ 島根県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
TSKさんいん中央テレビ	Live News days	2022/08/05 11:40	
石見銀山テレビ	ぎんテレ情報局	2022/08/18 17:00	
山陰中央新報		2022/07/27	
島根日日新聞		2022/07/27	

石見銀山テレビ



TSKさんいん中央テレビ



島根日日新聞



山陰中央新報



■山口県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
KRY山口放送	KRYニュースライブ	7/26(火)18:15~19:00	山口県-D09-岩国市に伝わる民話をアニメに_KRYニュースライブ.mp4 Powered by Box
KRY山口放送	KRYさわやかモーニング	7/27(水)05:30~06:30	山口県-D10-岩国市に伝わる民話をアニメに_KRYさわやかモーニング.mp4 Powered by Box
日刊いわくに		8/5(金)	
読売新聞		8/3(水)	



■ 愛媛県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
南海放送	海と日本プロジェクトinえひめ	9月9日（金） 11:25-11:30 ※予定	
愛媛朝日テレビ	確認中		
愛南CATV	びやびや愛南タイム	8月18日（木） 20:00～20:30	
愛媛新聞	確認中		



■高知県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
	からふる	6/29 (水)	
高知新聞		7/1 (金)	



■長崎県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時
長崎新聞		2022年8月9日 (火)
KTNテレビ長崎	マルっと!	2022年6月13日 (月)
KTNテレビ長崎	マルっと!	2022年8月19日 (金)
西日本新聞		2022年9月2日 (金)
西海テレビ	週間ほっとサンド	2022年8/13 (土) ~16 (火)



■宮崎県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
MRT宮崎放送	Check !	2022年10月3日(月)18 : 15~18 : 50	
夕刊デイリー社		2022年10月12日(水)	
宮崎日日新聞社		2022年10月24(月)	



アニメ完成報告表敬訪問

■アニメ完成報告表敬訪問スケジュール

エリア	民話名	日時		場所
北海道	折居婆さんと鯨	2月16日 (木)	12時00分	江差町役場 会議室
福島県	鮫川のサメ伝説「化身した黄金の鮫」	1月23日 (月)	10時30分	鮫川村役場2階正庁
千葉	竜王の子の約束	2月21日 (火)	11時00分頃	南房総市役所 (富浦本庁) 第2会議室
富山	虻が島の大蛇	2月1日 (水)	11時00分	氷見市役所 A棟1階 地域協働スペース
山梨	娘に化けた大ウナギ	1月24日 (火)	14時00分	市川三郷町役場
長野県	泉小太郎伝説	2月15日 (水)	10時00分	大田市役所西庁舎2階西会議室
愛知	仏島	2月24日 (金)	15時00分	蒲郡市役所
滋賀県	琵琶の名手と水の姫	2月17日 (金)	15時30分	大津市役所 応接室
島根	影ワニ	3月8日 (水)	14時30分	大田市役所 2階第1会議室
山口	海の姫宮の旅	1月27日 (金)	15時30分	岩国市役所 議会全員協議会室
徳島県	このしろばあさん	1月17日 (火)	11時00分	松茂町役場 2階応接室
愛媛県	大猿島と小猿島	2月20日 (月)	16時00分	愛南町役場2階会議室
高知	八幡宮の神輿	3月17日 (金)	11時30分	須崎市役所 市長室
長崎	長者と河太郎	2月14日 (火)	11時00分	松浦市役所3階庁議室
宮崎	琴姫の松	2月13日 (月)	10時30分	延岡市役所 市長応接室

認定表敬訪問

北海道江差町

<町長コメント>

江差の文化や歴史が良くわかる内容となっているだけでなく、漁業資源をしっかりと管理していくという教訓も含まれており、子どもたちやこの地域に住む人たちにも理解されやすい内容となっており感動した。子ども達の教育、またニシンで栄えた江差の街を多くの人に知ってもらうためのツールとしてこのアニメを活用し地域の活性化に役立てていきたい。



福島県鮫川村

<村長コメント>

鮫川が村から注いでいわきへつなっていることからこれまでも地域交流してきたが、昨年のいわき市のアニメと今回のアニメでまたひとつになれた気がする。

また、民話には古くからの教えが込められているため、子供たちはもちろん地域の皆さんへ発信し、未来へつないでいきたい。

このアニメが地域活性の起爆剤となることを期待している。



千葉県南房総市

<市長コメント>

・今回のアニメーション完成を受けて、ご感想をお願いします。

語り継がれてきた民話がアニメーションとして親しみやすい形になりました。

今後は、市内で学校や道の駅、市役所庁舎など可能な場所で、多くの皆様にご視聴いただけるようにしたいと思います。

・「海ノ民話のまちプロジェクト」に認定されたときのご感想はいかがでしたか？

全国で15か所選定された民話の一つとなったことに感謝申し上げます。

太平洋と東京湾に面した南房総市として、昔から「海」にかかわってきたことで伝わってきた民話が、より長く、より多くの方に語り継がれてゆくことで地域への愛着などが醸成されることを期待しています。

・南房総市の海にまつわる魅力について、教えてください。

現在でも行われている捕鯨や、豊富で新鮮な海の幸は南房総市の「食」文化を語る上で大きな魅力となっています。

また太平洋や東京湾で、それぞれ大きく印象の異なる海水浴や磯遊びなどの「体験」も市内で楽しめます。

さらには、富浦地区岡本棧橋には富士山を背景に静かな湾の棧橋と夕景などの撮影を楽しむ方など、さまざまな海の景色を「見る」ということもできます。

また太平洋と東京湾の両方に面している南房総市では、海から昇る朝日と、海に沈む夕日の両方を市内で楽しむこともできます。

さまざまな海の一面を南房総市でお楽しみください。

・「海ノ民話のまちプロジェクト」に期待すること、今後のアニメの活用について教えてください。

全国の海の魅力が引き出されることで、海に面した街のさらなる活性化となることに期待しています。

また、民話として語り継がれてきた人々の海への感謝や思いが、さらに長くより多くの人に語り継がれることを期待しています。

市内の小中学校、市役所庁舎ロビー、道の駅などで適時視聴できるように調整します。



認定表敬訪問

富山県氷見市

<教育長コメント>

地元で伝わる民話を楽しく、分かりやすい表現にさせていただきありがたいと思っている。多くの子どもたちに見ていただきたい。地元の灘浦小学校の児童が、毎年、虻が島の清掃活動をしており、灘浦小学校の子どもたちにも民話を知ってもらいたい。地域に伝わる民話を後世に伝えていくことが重要だと感じている。今後も全国に伝わる民話を作っていただきたい。



山梨県市川三郷町

まずは、市川三郷町の民話・娘に化けた大ウナギのアニメ制作を頂きました海ノ民話のまちプロジェクト実行委員会、アニメ制作会社のトマソンの皆様、民話の舞台となり、お話しを詳しくお話し頂きました市瀬山光勝寺 武田住職と多くの皆様のお力添えの元完成したこと感謝申し上げます。ありがとうございました。

実際にアニメを拝見し、日本昔話らしい作画と語りになつかしさ、そして物語に対する親しみやすさを感じました。この民話をどのように町の人に知ってもらうか、そしてどのように広めていくかは今後の課題になると思います。観光、教育など幅広く取り扱うこともできますので、多方面にて町のため、人のために利用していけるよう町としても検討していきます。また、大きな趣旨の一つである海を守るために何ができるかという点に関しましては物語だけでなく、様々な観点を通じて町民一人一人に伝えていくことで、海がない山梨からできる海を守る取り組みを進めていきたいと存じます。結びになりますが、このような機会を頂きました海と日本プロジェクトを推進する日本財団の皆様にご感謝申し上げます。



長野県大町市

まずアニメを拝見した感想としまして、全編を通じて大町の澄んだ水の色、青い色が画面を色濃く飾っていることが一番の印象でございます。

また、小太郎が母である犀龍と初めて会う場面が暖かく表現されており感動的でした。

大町から流れ出た水が犀川、千曲川、そして信濃川を通り、海へとたどり着き、豊かなミネラルを供給しているということで、「山の町 大町」の伝説が日本全体の海にも関わっているということ強く感じるアニメになっておりました。

子供たちにも、地域に対する愛着を育むと共に、海と山そして川の間をしっかりと伝え、更にそれを将来にまで育ていく、そんな取り組みに繋がっていきたく思います。

このアニメの制作に携わってくださった、沼田監督はじめ、実行委員会、多くのスタッフの皆様にご改めて深く御礼を申し上げます。

大切に、大切に受け継いでまいります。ありがとうございました。



認定表敬訪問

愛知県蒲郡市

<市長コメント>

子供たちにこのアニメを通して、海に対する親しみの他、怖さも同時に教える作品になり、感心・感動しました。本当にありがとうございます。
子供たちがより海を深く理解できる、怖さと素晴らしさの両面を伝える作品になると思います。私たちの宝物として伝えていきたいと思ひます。



滋賀県大津市

<市長コメント>

豊玉姫が大阪港から川をのぼって琵琶湖にやってくるところから始まる。淀川水系の上下流は一体で、琵琶湖と海が繋がって一緒に自然を守ってきたことを示してくださり、民話を通して子どもたちが学べることはありがたい。
関蟬丸神社の歴史もしっかりと描かれ、アニメを通して、様々な発見や広がりがあると拝見して驚いた。一人でも多くの方に見ていただけたらと思う。作っていただいたものを大切にしていきたい。



島根県大田市

<市長コメント>

民話というのは、お年を召した方には伝わっていても、次の世代にはなかなか伝わりにくい世の中になってきたなと思っております。このような形でアニメ化されることにより、様々な年代の方にもご覧いただけるようになりますので、歴史ある民話が後世に伝わっていくという流れができたことは非常に嬉しく思ひますし、これを通じて自然の大切さや、どう生きるのかといったことを子供たちには学んでほしいです。
大田市は、海・山・川といった自然に恵まれた地域ですが、海からもらっている幸を大事にしていくという点でも子供たちにはしっかり学んでほしいと思ひます。
日本という国は、古来より、自然を畏れ、そして敬い、自然とともに生活するのが日本人の暮らしであったと思ひますが、これらのことがこの民話で伝えられているので、そういったことを改めて感じ取っていただひて、自然とともに生きるという姿を学べるのかなと思ひます。



認定表敬訪問

山口県岩国市

<市長コメント>

この度のアニメでは、地名や史跡などの伝承を海の安全を願う姫宮を通してわかりやすく描いている。こうした歴史や文化、美しい海や資源を未来に引き継ぐことの大切さを市民や岩国を訪れる人々へ伝えていくことの重要性を再認識した。また、本市のPR媒体の一つとして親しみやすいアニメーションを活用することも効果的と考えている。



徳島県松茂町

<町長コメント>

松茂町の観光は海しかないんですね。今後とも守らないかん、海を守らないかん、という感覚を抱きました。



愛媛県愛南町

<副町長コメント>

この度は、本当に素晴らしい作品を製作していただき誠にありがとうございました。日本財団をはじめ、すべての関係者の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

海は私たち愛南町民にとって、産業や観光分野においてなくてはならない愛南の宝です。今日初めて作品を拝見し、猿の親子の悲哀の中にも命の大切さや海の安全を示唆する教訓とともに、随所に地元の産品も盛り込まれており、大変感動しました。今後はあらゆる場面でこの貴重な作品を活用させていただき、ふるさと自慢の海の重要性をより多くの方々に再認識していただきながら、後世にもしっかりと受け継いでいきたいと考えています。



認定表敬訪問

高知県須崎市

<市長コメント>

八幡宮の神輿が伊豆に行ってまた帰ってきたという話が見事にアニメーションになっていて大変感激いたしました。須崎の歴史や文化を学ばますし、未来に対してもこのようなアニメで、須崎の民話が残るということは、非常に有意義なことだと思います。

このアニメを小学校低学年の方に見て欲しいですし、全国にいらっしゃる須崎市のファンの方にも、見ていただきたいと思います。須崎市は海の町です。海とは切っても離されない町です。津波という脅威がありますが、海とともに生活しようということを改めて認識しましたし、皆さんにもぜひ知っていただきたいなと思います。



長崎県松浦市

<市長コメント>

地元で伝わる民話を子どもたちにしっかりと伝承していくという意味で、こうやってアニメになるということでたくさんの方に観てもらえることができ、また松浦の青島を知ってもらい現地でかっぱ石や河太郎たちが工事したのかな？と感じられる素晴らしいツールをありがとうございます。

青島だけにとどまらず、松浦全体に広げていきたいなと思います。



宮崎県延岡市

<市長コメント>

語り継いでいかななくてはいけないお話なのに、地域の人たちも段々と記憶が薄れがちだと思う。

そのような中で大事なきっかけを頂いた。また“防災の学び”として子供たちが避難の大切さを学ぶ意味でも大きな効果があると思う。子供たちがこのアニメを通じて大人たちを避難誘導してくれる効果も期待できると思うので、大変ありがたいプロジェクトだと感謝している。内容がすごく分かりやすい。上からの目線ではなく子供たちの目線で必要なことが素直に理解できる形にいただいた。大人たちにとっても「あの頃、だめだよ」って教えられた、すんなりと納得できるような内容になっていると思う。地域の人たちが、こうした「民話」が残っていることでより地域愛が深まり、いろいろなコミュニティ活動の活性化にも繋がっていくと思うし、この民話（制作）によって地域の活性化にも大きくプラスになると思う。読み聞かせ（ボランティア）の皆様とも連携し全ての世代の方に対して地域の民話、また防災教育として活用させて頂きたいと思う。



■北海道

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
北海道放送	サンデードキッと	3月26日(日)	
北海道新聞	地域面	3月1日(水)	
函館新聞		2月20日(月)	



■福島県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
福島民友新聞社	福島民友	1/24(火) 朝刊	
福島民報新聞社	福島民報	1/24(火) 朝刊	
東白日報	東白日報		
さめがわ豆新聞	さめがわ豆新聞		
読売新聞	読売新聞		

■千葉県



■山梨県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
山梨放送	海と日本プロジェクトinやまなし	2023年2月24日	
山梨日日新聞社	山梨日日新聞	2023年2月1日	
市川三郷町	「広報」いちかわみさと	2023年3月1日	

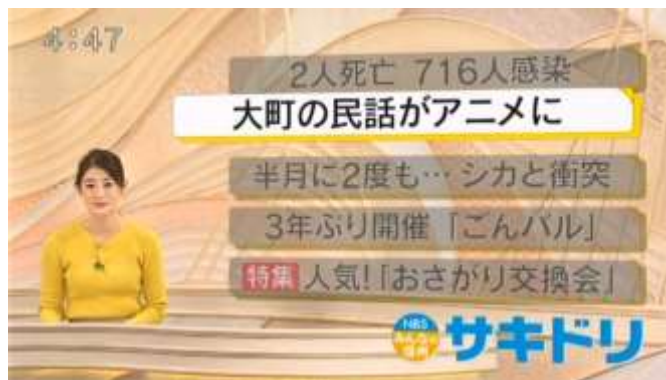


掲載日: 2023年02月07日 / 掲載: 第1000号
 掲載: 記事・写真・イラスト等の無断複製・転載は固く禁じます。Copyright 山梨日日新聞社

■長野県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
番組 (NBS長野放送)	みんなの信州 サキドリ	2/15 (水) 16:45~16:50	
信濃毎日新聞社		2/16 (木)	
読売新聞社		2/16 (木)	
大糸タイムス		2/16 (木)	
大町CATV		2/22 (水) ~28 (火) 6:00~ 8:30~ 12:00~ 17:00~ 19:00~ 23:00~	
大町市ホームページ			おおまちの民話「泉小太郎」がアニメになりました！ 大町市公式サイト (city.omachi.nagano.jp)
広報おおまち 3月号			
番組 (NBS長野放送)	海につながる長野県	2023/3/12 (日) 20:54~21:00	https://youtu.be/YDgIYim-yLE

■長野県



■長野県

大町の民話 短編アニメ化



「泉小太郎伝説」のアニメの一場面（大町市・海ノ民話のまち実行委員会提供）

大町市の民話「泉小太郎伝説」が短編アニメ化され、同市役所で15日に完成試写会が行われた。日本財団（東京）と日本昔ばなし協会（同）が、各地の海にまつわる民話を継承する「海ノ民話のまちプロジェクト」の一環で、市はアニメを地域のPRに活用する。

「泉小太郎伝説」試写会 市PRに活用

プロジェクトは2018年度に始まり、22年度の「泉小太郎伝説」を含め41市町村の計42話がアニメ化された。今回のアニメは約5分30秒で、昨年5月から7か月かけて製作された。

泉小太郎伝説は、母・犀龍と父・白龍王の間に生まれた小太郎が犀龍に乗って岩山を崩し、湖水が日本海に流れるようにしたこと、犀川や豊かな里山、漁場が形成されたという内容。伝説にちなみ、市内には銅像が立ち、大町ダム湖は龍神湖と名付けられた。監督を務めた沼田心之介さん（42）は「地元の人から自分の町の話だと分かるように表現した。伝説が愛され、後世に残していければ」と

語り、伝承活動が続ける。大町民謡の男つくり、もんべの会」の丸山裕江子さん（66）は「小太郎のかわいらしき、龍の躍動的で美しい表現など、私たちが語り継いでいけないものを映像で表現してくれた」と喜んだ。

アニメは動画投稿サイト「ユーチューブ」で16日から公開され、市はアニメの画像を使った付箋の製作や、上映会を検討している。牛越徹市長は「子どもたちの地域に対する愛情を育み、海と山、川の間を伝えていきたい」と、アニメの活用を期待を寄せた。

佐久 0 4 8 10
 梶井 0 2 11 10

大系多岐

泉小太郎アニメ完成

ゆかりの大町で上映会

YOUTUBEから




「泉小太郎伝説」のアニメが完成した。大町市役所で15日に完成試写会が行われた。日本財団（東京）と日本昔ばなし協会（同）が、各地の海にまつわる民話を継承する「海ノ民話のまちプロジェクト」の一環で、市はアニメを地域のPRに活用する。

プロジェクトは2018年度に始まり、22年度の「泉小太郎伝説」を含め41市町村の計42話がアニメ化された。今回のアニメは約5分30秒で、昨年5月から7か月かけて製作された。

泉小太郎伝説は、母・犀龍と父・白龍王の間に生まれた小太郎が犀龍に乗って岩山を崩し、湖水が日本海に流れるようにしたこと、犀川や豊かな里山、漁場が形成されたという内容。伝説にちなみ、市内には銅像が立ち、大町ダム湖は龍神湖と名付けられた。監督を務めた沼田心之介さん（42）は「地元の人から自分の町の話だと分かるように表現した。伝説が愛され、後世に残していければ」と

語り、伝承活動が続ける。大町民謡の男つくり、もんべの会」の丸山裕江子さん（66）は「小太郎のかわいらしき、龍の躍動的で美しい表現など、私たちが語り継いでいけないものを映像で表現してくれた」と喜んだ。

アニメは動画投稿サイト「ユーチューブ」で16日から公開され、市はアニメの画像を使った付箋の製作や、上映会を検討している。牛越徹市長は「子どもたちの地域に対する愛情を育み、海と山、川の間を伝えていきたい」と、アニメの活用を期待を寄せた。

大町の「泉小太郎」アニメに

伝説に基づき日本財団など作成

市、観光や教育に活用へ

大町市は、市役所が中心となり、日本財団（東京）と日本昔ばなし協会（同）が、各地の海にまつわる民話を継承する「海ノ民話のまちプロジェクト」の一環で、市はアニメを地域のPRに活用する。

プロジェクトは2018年度に始まり、22年度の「泉小太郎伝説」を含め41市町村の計42話がアニメ化された。今回のアニメは約5分30秒で、昨年5月から7か月かけて製作された。

泉小太郎伝説は、母・犀龍と父・白龍王の間に生まれた小太郎が犀龍に乗って岩山を崩し、湖水が日本海に流れるようにしたこと、犀川や豊かな里山、漁場が形成されたという内容。伝説にちなみ、市内には銅像が立ち、大町ダム湖は龍神湖と名付けられた。監督を務めた沼田心之介さん（42）は「地元の人から自分の町の話だと分かるように表現した。伝説が愛され、後世に残していければ」と

語り、伝承活動が続ける。大町民謡の男つくり、もんべの会」の丸山裕江子さん（66）は「小太郎のかわいらしき、龍の躍動的で美しい表現など、私たちが語り継いでいけないものを映像で表現してくれた」と喜んだ。

アニメは動画投稿サイト「ユーチューブ」で16日から公開され、市はアニメの画像を使った付箋の製作や、上映会を検討している。牛越徹市長は「子どもたちの地域に対する愛情を育み、海と山、川の間を伝えていきたい」と、アニメの活用を期待を寄せた。

■長野県



・大町CATV

2/22 (水) ~28 (火)
6:00~ 8:30~ 12:00~ 17:00~ 19:00~ 23:00~

■長野県

大町市ホームページ



■長野県

広報 おおまち 3 No.1100

2023年 令和5年

全国各地の海にまつわる民話を発見し、込められた思いや教訓を伝えていく「海ノ民話のまちプロジェクト」で(一社)日本昔ばなし協会が制作を進めていた「泉小太郎伝説」のアニメが完成しました。「泉小太郎伝説」は大町市に伝わる民話で、松本平に広がる湖を人の住める湖とするため、小太郎と母親の御魂が火山を切り開き、日本海に至る川筋(関川)を作るという物語です。市ではアニメ完成を記念して、上映会も泉小太郎伝説から学ぶSDGsのワークショップを開催します。(関連記事は17ページ)

主な内容

- ① 松本山積F.C. ホームタウン大町市から応援しましょう
- ② STOPT! 地球温暖化
- ③ 市役所休日窓口を開館します
- ④ 地域生活支援センターの利用に関するお知らせ
- ⑤ 市営バス「ふれあい号」をご利用ください!

新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載した行事などの内容が変更となる場合があります

生涯学習

アニメ「泉小太郎伝説」完成上映会 ～泉小太郎から学ぼうSDGs～

日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として(一社)日本昔ばなし協会が推進する「海ノ民話のまちプロジェクト」で、大町市の「泉小太郎伝説」が採択され、このたびアニメが完成しました。

アニメ完成を記念して、上映会&泉小太郎伝説から学ぶSDGsのワークショップを開催します。参加無料です。ご家族での参加をお待ちしています!



■日時 3月26日(日) 午後1時30分開場(1時間程度)

■会場 大町公民館分室 2階 講堂

■対象・定員 小学生以下のお子さんとその保護者 先着15組

■申し込み 事前に、応募フォーム(<https://ws.formzu.net/dist/S334155504/>)から。

■その他 ▷体調が優れない場合や37.5℃以上の熱がある場合は、参加をお控えください。
▷来場者には泉小太郎のオリジナルグッズをプレゼントします。

■問い合わせ 観光課観光振興係 TEL内線561・562



応募フォーム

■長野県



■滋賀県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
びわ湖放送	海と日本プロジェクト	3/5 18:05~18:15	
NHK大津	おうみ発630	2/17 18:30~	
NHK関西	ほっと関西	2/17 18:00~	
京都新聞		2/28	
中日新聞		3/3	



滋賀 NEWS WEB

大津 琵琶の名手 鯉丸を描いたアニメを完成披露

02月17日 17時13分



平安時代の歌人で、琵琶の名手とされる鯉丸を描いたアニメがこのほど完成し、17日、大津市役所で披露されました。

このアニメは、日本各地に伝わる昔の伝説をアニメ化している日本財団の活動の一環として制作されたもので、17日、制作にあたったスタッフが大津市役所を訪れ、完成したアニメを上映しました。

アニメは「琵琶の名手と水の姫」というタイトルで、奥からびわ湖までさかのぼってきた琵琶湖の伝説が、琵琶の名手、鯉丸の演奏を聞き、鯉丸を琵琶の神として大津市の湊坂の船にまつまでのいきさつを5分あまりで描いています。

アニメを見た大津市の佐藤健司市長は、「1話で大津の自然や歴史を学べるアニメになっていると思います」などと話していました。

このアニメはYouTubeの「海ノ民話のまじプロジェクト」のチャンネルで、18日から公開されるほか、来月（3月）11日には大津市民会館で上映会も開かれる予定です。

アニメを制作した岩田心之介監督は、「大津に伝わる民話を題材にしているので、子どもだけでなく大人の方にも見ていただいて、地元を考えるきっかけにしてほしい」と話していました。

■山口県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
KRY山口放送	KRYニュースライブ	2/2(木)18:15~19:00	https://app.box.com/file/1133254092386
KRY山口放送	KRYさわやかモーニング	2/3(金)05:20~06:30	https://app.box.com/file/1133254068361
KRY山口放送	ナビすた!	2/25(土)10:20~10:30	https://app.box.com/file/1156830104056
中国新聞		2/5(日)	
日刊いわくに			
アイ・キャン			



■山口県

(第三種郵便物認可)

「海の姫宮の旅」の一場面



岩国市など制作市杵島姫命の船の旅

海の民話アニメが完成

岩国市が市内に伝わる海の民話を題材にしたアニメ「海の姫宮の旅」を作った。海洋ごみの削減などに取り組む日本財団（東京）と共同で取り組み、市内の岩国徴古館や市役所本庁舎で流して子どもたちの学びや観光振興に役立てる。動画投稿サイトのユーチューブでも発信している。

(川村奈菜)

子どもの学び・観光に活用

廿日市市杵島町の厳島神社に祭られる海運の神、市杵島姫命の船の旅を5分30秒でまとめた。市杵島姫命が松に装束を掛けたとされる装束地区の地名の由来や、その場所へ紅を付けた言い伝えがある尾津地区の「紅活」などを紹介する。

アニメ制作会社の担当者が市役所で福田良彦市長に完成を報告した。福田市長は「言葉だけでは伝わりにくい部分もアニメで分かりやすく表現され、郷土愛を深めるきっかけにもなる。教育、観光に幅広く活用したい」と話した。

日本財団が全国で進める「海と日本プロジェクト」の一環で、県内の自治体で初めてアニメを制作した。岩国市内でDVDを使って上映会を計画する。アニメの市杵島姫命をあしらったクリアファイルを作り、市内の全小学生に配布する計画がある。

岩柳

岩国総局 ☎08327(2)167800 FAX(2)17745
 柳井支局 ☎08320(2)00247 FAX(2)400012
 大島支局 ☎08320(2)0012 FAX(7)900005
 玖珂ステーション ☎08327(8)406159

■徳島県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
四国放送	フォーカス徳島	2023/1/17 18:15-	https://www.jrt.co.jp/news/news99sbkatqlqhk7wfgkx?page=1

■ 愛媛県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
南海放送	海と日本プロジェクトinえひめ		
愛媛新聞社	誌面		



■高知県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
高知新聞		3/19 (日)	

朝刊 2023/03/19(日)

アニメ「八幡宮の神輿」のワンシーン
©一般社団法人日本昔ばなし協会

須崎の民話アニメに
「八幡宮の神輿」

まんが日本昔ばなしスタッフ制作

「八幡宮の神輿」のDVDを橋本耕作市長（左）に手渡す沼田心之介代表理事（須崎市山手町の市総合保健福祉センター）

【須崎】須崎市に伝わる民話を題材としたアニメ「八幡宮の神輿」がこのほど完成した。テレビアニメ「まんが日本昔ばなし」に携わったスタッフらが制作した区分けの作品。市関係者は民話の伝承や津波学習に役立てたいと話している。

民話は、宇水地蔵（1707年）の津波で伊豆まで流された須崎のみそしらが回船業者らの尽力で翌年後歸に戻ってきたという内容。アニメ化は日本財協と一般社団法人日本昔ばなし協会が取り組む「海ノ民話のまちプロジェクト」の一環で実現した。海にまつわる民話の発掘や伝承を通じて、地域活性化につなげてもらうとらら18年度にスタートした同プロジェクト。全国の自治体から公募した民話を題材に21年度までの4年間で27話、22年度には須崎市などの15話が制作された。高知県からのアニメ化は今回が初めて。

17日には、監督を務めた沼田会館の沼田心之介代表理事（右）が東京都から同市を訪れ、橋本耕作市長に作品のDVDを寄贈した。鑑賞した橋本市長は「すてきなアニメになり感動している。市民にも作品を見てもらい、海と一緒に生活している中で津波もあるということを改めて感じてほしい」と沼田代表理事は「津波の怖さだけでなくほっこりする部分もあり、ボジティブに終わる作品にした」と話していた。

作品は同プロジェクトのYouTubeチャンネルで公開されている。

（高尾和志）

(c) Copyright The Kochi Shimibun

■長崎県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
長崎新聞社		2023/2/21	
西日本新聞社		2023/3/1	
KTNテレビ長崎	マルっと！2部	2023/2/27	



■長崎県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
宮崎放送	Check !	2023年2月13日 (月) 16 : 50~17 : 50	
宮崎放送	Check !	2023年2月13日(月)18 : 15~18 : 50	
夕刊デイリー新聞社		2023年2月16日(木)	
読売新聞社		2023年2月22日(月)	



アニメ上映会 フィールドワーク

実施概要

- 日 時：2023年2月16日(木)
- 会 場：江差町立南が丘小学校体育館
- 参加人数：児童50名 おとな30名



<現地レポート>

南が丘小学校の1年生から6年生50人が体育館で視聴した。アニメーションという表現手段のためか低学年の児童も最後まで集中してアニメ鑑賞していたのが印象的であった。また、上映会解散後、すぐに友達同士でアニメに関する話をしている様子が見られ児童との親和性が高いコンテンツであることを改めて認識した。

【子どもたちの声】

前から知っていた話だったがアニメーションになって話の世界が膨らんだように感じた。ニシンがたくさん獲れるようになったシーンで欲張って漁をすると良くない結果を招いていたのでみんなで分け合うことが大切だと感じた。

実施概要

- 日 時：2023年3月28日(火)10：30-11：30
- 会 場：鮫川村公民館 大集会室(〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村赤坂中野巡ヶ作128)
- 参加人数：75名



<現地レポート>

鮫川村の小学生を中心に村全域へ案内したところ、小学生からお年寄りまで幅広い世代に参加していただいた。

小学生たちは民話アニメの展開にリアクションを取りながら集中して見てくれていたし、お年寄りの民話に詳しい方（民話の語り部）は上映会終了後、「感動しました」と涙ながらに感想を語ってくださった。

沼田さんの講演では、アニメはどう作られているのかという流れを子供たちは真剣に聞いていた。

富田さんの講演では、発声練習やレクリエーション、生アフレコ披露といったコンテンツを交えたことで、子供たちは楽しみながら声優のお仕事について学ぶことができた。上映会終了後、生アフレコで富田さんが声を当てていたセリフを真似して話す子供もいた。

実施概要

- 日時：2023年3月28日(火)10:30-11:30
- 会場：鮫川村公民館 大集会室(〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村赤坂中野巡ヶ作128)
- 参加人数：75名



<現地レポート>

前述の上映会と同時開催。

民話に登場した「鮫池」に現地へ赴き、海の民話を実際に五感で感じてもらうのがベストだったが、整備がなかなか進んでおらず、子供たちを連れていくのが困難であったため、アナウンサーと案内人が鮫池を目指す事前動画を制作。

フィールドワーク動画として、海の民話上映後に放映した。

子供でも見やすいような編集を意識したため、飽きずに子供たちに見てもらえ、終わった後に「行ってみたい」という子供たちの感想が何人かから聞こえた。

実施概要

- 日 時：2月24日（金）
- 会 場：南房総市立富浦小学校 千葉県南房総市富浦町原岡931
- 参加人数：約200人



<現地レポート>

- ・「ばけものみたいなりゅうおうが面白い、
- ・しらないはなしをきけた
- ・ほんとなのかなあとおもった、
- ・むずかしいことばがでてきたけど、ゆってくてわかりやすかった
- ・竜王の子がしゃべったのがおもしろくて楽しかった。
- ・竜王の子が雨をやませてくれてるんだなと思いました。
- ・知らない言葉をして昔は言葉が違うんと思った。
- ・このイベントはとてもいいイベントだと思った。ちいさい子にも話してあげたいなと思った。
- ・りゅうおうの子のすがたがイメージとちがった。

実施概要

- 日時：3月3日（金）9時30分～10時30分
- 会場：氷見市立灘浦小学校 ランチルーム
- 参加人数：4年生～6年生 児童25名



<現地レポート>

- ・私たちの宝物の虻が島をアニメを通じて、いろいろな人に知ってもらいたいと思った。
- ・北の植物や南の植物が1つの島にあることがすごいと思った。
- ・昔、虻が島はとても大きい島だったことを知った。
- ・これからも島の自然を守っていきたいと思った。

実施概要

- 日時：3月3日（金）9時30分～10時30分
- 会場：氷見市立灘浦小学校 ランチルーム
- 参加人数：4年生～6年生25名 児童25名



<現地レポート>

- ・虻が島で縄文時代の石器や土器のかけらが見つかったことを知った。
- ・古城公園の高岡城の石垣の一部に虻が島の石が使われていることを知った。
- ・民話になるような歴史がある島のことを多くの人に知ってもらいたい
- ・虻が島の周辺を含め、氷見は昔から漁業が盛んだったことを知った。

実施概要

- 日時：2023年3月9日（木）
- 会場：市川三郷町立上野小学校
- 参加人数：6年生14名



<現地レポート>

民話の舞台となった市川三郷町上野地区にある上野小学校で上映会を実施しました。学校としてもコロナにより課外授業ができない中、このまま卒業してしまう6年生に最後の思い出を作ってほしいという思いから実施を快諾頂きました。上映会では、普段なじみのないアニメ監督の沼田心之介さんや民話の舞台となった光勝寺の武田智宏さんから海と日本プロジェクトや地域と民話の繋がりについてのお話があり、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。

【参加児童感想】

- ・上野にこういう民話があるのを知らず、驚いた。
- ・別の民話がないか調べてみたいと思った。
- ・実際に光勝寺に行き、うなぎ沢を見てみたい。 他

実施概要

- 日 時：2023年 3月 26日（日） 13:30～ 14:30
- 会 場：大町公民館分室 講堂
- 参加人数：親子8組21名、もんぺの会の皆様、市の方15名 計36名



実施概要

- 日時：2023年3月26日（日） 13:30～14:30
- 会場：大町公民館分室 講堂
- 参加人数：親子8組21名、もんぺの会の皆様、市の方15名 計36名

<現地レポート>

冒頭で、海ノ民話のまちプロジェクトとはどういうことをしているのか子ども達に説明をした後、「泉小太郎伝説」のアニメを上映しました。大町市に伝わるこの伝説は、広く知られていますが新たにできたアニメを皆様真剣に見ていました。

アニメ上映後は、アニメに登場した実施の場所について文化財センターの方から、お話がありました。

その後、SDGsについて市役所の方から説明があり、環境問題と水について小太郎の話になぞらえて、小太郎と犀龍が周りの人々が豊かに暮らせるように、山を貫き川と海をつなげ豊かにしたように、みんなも世界の人々に綺麗な水が届くよう、自然や水を大切にしようというお話がありました。

続けて、水の循環や下水の取り組み、お待ちの綺麗な水（水源）をどう守っているのかについて市の方からお話がありました。大町では100年間変わらない方法で水を供給しているという話しには、驚いている親子もいました。

最後に、今まで聞いた話をふまえ、もう一度アニメを見た後に感想を書いてもらいました。

「小太郎から学ぼうSDGs」というサブタイトルの通り、アニメを入口として自分が住んでいる地域のこと、水のこと、更にはSDGsに関連付け広く学べたイベントになりました。

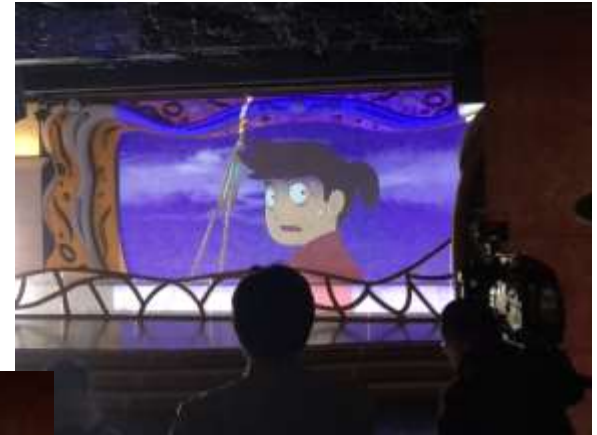
■感想

- ・もともと授業である程度の水の話はわかっていたが、このアニメを通してさらに知れてよかった。
- ・犀龍は海を豊かにしたことが分かったので、良かったです。
- ・小太郎が一生懸命、安曇野平に水を通し、村の人々や海の生物がよりよく生活できるようになり、心温まる物語でした。当たり前ですが、今、できる事をしていきたいです。
- ・はじめに映画を見たときは、龍を人のメタファーとして捉えていたので、「なぜ湖の底にいた犀龍が岩の中に？」「自然を壊す人間の話しかな？」と思ってしまっていた。しかし、地域の話、SDGsの話、水の循環の話を聞き、二度目に映画を見たときは、「水が循環したから、湖の龍が岩の中にいたのかも」「水の浸食、運搬、たい積のたとえ話としてもよくできているな」と思うようになりました。

愛知県蒲郡市（上映会）

実施概要

- 日時：2023年2月26日（日）12:00～12:30
- 会場：ラグーナテンボス ラグナシア宮殿ステージ
- 参加人数：50人



<現地レポート>

冒頭、鈴木寿明蒲郡市長から「海のすばらしさ、怖さを伝える作品となった。ぜひみなさんでご覧ください」との挨拶のあと、アニメ「仏島」を上映した。途中登場する海の亡者の姿に、一瞬怖そうな表情を見せる子供もいたが、皆真剣にスクリーンに映されたアニメを鑑賞してくれた。

上映後は、柴田英知プロデューサーと鈴木市長によるトークショーを行い、作品に対する思いや今後この作品を蒲郡でどのように活用していきたいかなど話が展開された。

愛知県蒲郡市（フィールドワーク）

実施概要

- 日時：2023年2月26日（日）12:00～12:30
- 会場：ラグーナテンボス ラグナシア宮殿ステージ
- 参加人数：50人



<現地レポート>

アニメの上映に入る前に、蒲郡市民もほとんど知らないという「仏島」の場所について、スクリーンに画像を出して解説。
 上映会後には、テレビ愛知のキャラクターというちゃんも参加し、作品に関連するクイズ大会を実施。「登場した島の名前は？」「海の潮の満ち引きに関係する事象は？」といった出題に対しての3択クイズで盛り上がった。
 柴田プロデューサーから、潮の満ち引きは「月の引力だけでなく、実は地球の自転も関わっている」という豆知識に参加者が関心する場面もあった。

滋賀県大津市（上映会）

実施概要

- 日時：2023年3月11日 10:30~12:00
- 会場：大津市民会館 小ホール
- 参加人数：来場約100人



<現地レポート>

民話アニメの上映に合わせ、沼田監督のトークショー、舞台となった関蟬丸神社の宮司のトークショー、アニメに登場する楽器・琵琶の演奏、びわ湖から生まれた楽器・よし笛の演奏などが披露されました。

- ・上映会には近隣住民を中心に約100人が来場し、90分のプログラムを楽しみました。
- ・沼田心之介監督のトークショーでは、BBCの小西あゆ香アナウンサーとの対談形式で、民話のもつ地域の誇りや学びの力についてのことなどが話され、今回のアニメをきっかけに子供や孫にも語り継いでほしいと呼びかけられました。
- ・物語の舞台となった関蟬丸神社の橋本匡弘宮司からは、昨年で建立1200年を迎えたことや、道開きの神・芸能の神として、また地域の守り神として信仰を集めていたことなどの説明がありました。制作されたアニメは逢坂の関として賑わっていたころの様子がイメージできるものとなっており、神社の歴史を伝えるものとして活用したいと話されました。
- ・筑前琵琶 橘流の明智旭心師範による琵琶の演奏では、戦国武将が馬に乗ったまま琵琶湖を進む『湖水渡』が演じられ、迫力ある琵琶の音が響きました。
- ・日本よし笛協会の近藤ゆみ子会長によるよし笛の演奏では、びわ湖をイメージしたオリジナル曲や、童謡『海』などが演奏され、透き通った優しい高音で会場を包み込みました。
- ・訪れた人からは「アニメに登場する『琵琶』の本物の演奏やトークショーなど、見ごたえのある上映会だった」「地元の物語がアニメになり嬉しい」などの感想をいただいたほか、会場を訪れた小学校の講師からは、滋賀県の学びとしてアニメを授業で使用したいと申し出がありました。

実施概要

- 日時：2023年3月11日 10:30~12:00
- 会場：大津市民会館 小ホール
- 参加人数：7家族25人



<現地レポート>

民話アニメの上映に合わせ、沼田監督のトークショー、舞台となった関蟬丸神社の宮司のトークショー、アニメに登場する楽器・琵琶の演奏、びわ湖から生まれた楽器・よし笛の演奏などが披露されました。

- ・上映会には近隣住民を中心に約100人が来場し、90分のプログラムを楽しみました。
- ・沼田心之介監督のトークショーでは、BBCの小西あゆ香アナウンサーとの対談形式で、民話のもつ地域の誇りや学びの力についてのことなどが話され、今回のアニメをきっかけに子供や孫にも語り継いでほしいと呼びかけられました。
- ・物語の舞台となった関蟬丸神社の橋本匡弘宮司からは、昨年で建立1200年を迎えたことや、道開きの神・芸能の神として、また地域の守り神として信仰を集めていたことなどの説明がありました。制作されたアニメは逢坂の関として賑わっていたころの様子がイメージできるものとなっており、神社の歴史を伝えるものとして活用したいと話されました。
- ・筑前琵琶 橘流の明智旭心師範による琵琶の演奏では、戦国武将が馬に乗ったまま琵琶湖を進む『湖水渡』が演じられ、迫力ある琵琶の音が響きました。
- ・日本よし笛協会の近藤ゆみ子会長によるよし笛の演奏では、びわ湖をイメージしたオリジナル曲や、童謡『海』などが演奏され、透き通った優しい高音で会場を包みました。
- ・訪れた人からは「アニメに登場する『琵琶』の本物の演奏やトークショーなど、見ごたえのある上映会だった」「地元の物語がアニメになり嬉しい」などの感想をいただいたほか、会場を訪れた小学校の講師からは、滋賀県の学びとしてアニメを授業で使用したいと申し出がありました。

実施概要

- 日時：2023年3月8日 10:15～10:35
- 会場：大田市立温泉津小学校 体育館
- 参加人数：約90人（全校児童）



<現地レポート>

【所見・感想】

上映中は子供たちの笑い声やリアクション（ヨズクハデが出ていた部分等）もあり、皆興味深そうに視聴していた。視聴後はクイズ形式での振り返りを行い、押し付けではなく、子供たち一人ひとりが考え、自分なりの答え（この民話は何を伝えなかったのか等）を促すことを大事に行った。

【子供たちの声】

- ・影ワニは海の神様のような存在だと思いました。資源を守る大切さを感じました。
- ・海の生き物を私たちは食べているけど、海の生き物も、海の中で協力して生きているから、それを私たちが獲りすぎたりとか、自然を壊してしまうことがいけないことというのを伝えているのかなと思いました。
- ・この物語で、色んな人たちに、温泉津の良さを知ってもらったら嬉しいなと思います。海では綺麗で面白いことがあるけど、ちゃんと気を付けて楽しみたいなと思いました。

実施概要

- 日時：2023年3月8日 10:50～12:20
- 会場：大田市立温泉津小学校 家庭科室
- 参加人数：約15人（3年生）



<現地レポート>

【所見・感想】

アニメの舞台となった温泉津は、かつて「殿島のり」の産地として栄えたが、今では地元の伝統を残したいと続けている家が4軒あるだけで、市場にはほとんど流通していない状況にある。地元で海苔を獲り続けている講師による「海苔すき体験」を実施し、改めて地元の伝統や海の恵みを未来に残していくための大切さを、本体験を通じ感じてもらうことができた。

【子供たちの声】

- ・海苔をまんべんなく広げるのが難しかったけど、きれいにできました。食べるのが楽しみです。
- ・海苔をとる人たちが減ってきているのが残念です。美味しいものだからこれからも残ってほしいです。

実施概要

- 日時：3月3日（金） 13:30～15:00
- 会場：愛宕共用会館 2回集会室
- 参加人数：60名

主催：愛宕まちづくり協議会 共催：愛宕公民館（中央公民館愛宕地区）

ふるさと歴史講演会 第3弾『弘中氏と中世岩国』

日時：令和5年3月3日（金）
13:30～15:00

場所：愛宕共用会館 2階集会室

講師：岩国徴古館 学芸員 濱保 仁志 氏
*学芸員によるギャラリートーク

入場料：無料（先着60名）

申込み：2月13日（月）8:30～
愛宕出張所にて申し込み



弘中氏は、戦国時代、大内氏に属していた岩国の領主。

海の民話アニメ「海の姫宮の旅」を上映します



「海の姫宮の旅」

このアニメは、岩国市に伝わる民話をもとに日本財団が進める「海と日本プロジェクト」の一環で製作されたもので、厳島神社に祀られる市村島姫命（りむらじまひめのみこと）の船旅の物語です。尾津地区には市村島姫命が立ち寄ったとされる「紅岩」、「横岩」、「屏風岩」があり、紅岩と横岩がアニメに登場します。まちづくり協議会では、本年度「紅岩」の説明板を現地に掲出する予定です。



私たち数社企業は、愛宕まちづくり協議会の団体会員として、協議会の活動を応援しています。

◆お問い合わせ：地域づくり部会長 日辻道雄 ☎ 090-2343-7802 ◆

令和4年度	ふるさと歴史講演会申込書	令和5年3月3日（金）13:30～15:00
氏名	住居	（備考）電話番号
	岩国市 町	

<現地レポート>

愛宕まちづくり協議会は令和2年に設立された、岩国市愛宕地区に暮らす住民自らが地域の現状や課題を把握し、岩国市及び地区内の各種団体と協働してまちづくりを行うことにより、誰もが地区への愛着と誇りを持ち、人と人がふれあい、つながり、楽しく暮らしていくまちの実現を目指しています。今回、愛宕地区にある地名についての解説もあるアニメ「海の姫宮の旅」が作られたことにより、アニメを通して改めて愛宕地区とその良さを見つめなおすという目的で上映会を行いました。上映後、参加者の子供たちからは「紅岩という地名がなぜあるのか分かった」「宮島とここ（当地）に関係があったことに驚いた」といった声が聞かれたほか、大人からは「わかりやすいので、孫にも見せたい」という感想をいただきました。

実施概要

- 日時：2023年3月12日（日）09:30、10:30、11:30、13:00
- 会場：マツシゲート（徳島県板野郡松茂町）
- 参加人数：61名



<現地レポート>

上映会は、午前3回、午後1回の計4回行われ、合計61名の子ども達が観賞した。いづれの会も上映が始まると子供たちは食い入るようにアニメに見入っていた。

子供たちの感想

「超こわかった」

「お魚をいっぱいとりすぎることはよくないと思った」

「おわりにやさしいかおになってよかった」など

実施概要

- 日時：2023年3月12日（日）
- 会場：マツシゲート（徳島県板野郡松茂町）
- 参加人数：61名



<現地レポート>

アニメ本編の上映に続き、フィールドワークとして、このしろばあさんの舞台となった松茂町の史跡や歴史の講座を映像や写真などを使って行った。その後、感想文とこのしろばあさんの絵を描いてもらった。子供たちは、このしろばあさんの石碑が残っている事などを知り驚いた様子だった。

子供たちの感想

「このしろばあさんが本当にいたことにびっくりした」
「松茂のことがよくわかった」 など

愛媛県愛南町（上映会）

実施概要

- 日時：2023年2月20日（月）9：20～10:00
- 会場：愛南町立家串小学校
- 参加人数：児童23名、先生6名、保護者4名



<現地レポート>

上映会に参加してくれたほとんどの子どもたちが地元で伝わる民話「大猿島と小猿島」について知りませんでしたが、アニメを真剣に見てくれました。

子どもたちからは、

- ・自分たちの住む町にこんな民話があることを知らなかったので知れてよかった。大猿島と小猿島に実際に行ってみたい。
 - ・愛南町の海はとても綺麗で美味しいお魚も採れて素晴らしい海だけど、危険な時もあるので遊ぶ時は気を付けたい。
 - ・海で事故にあつと自分のお父さんやお母さんが悲しむので、海が荒れている時は海に近づかないようにしたい。
- などの感想があり、民話の警鐘の部分も深く理解してくれていました。

また、愛南町の教育関係者の方からは、海の安全講習の際の教材として使用したいと話していただきました。

愛媛県愛南町（フィールドワーク）

実施概要

- 日時：2023年2月20日（月）10:15～11:20
- 会場：愛南町立家串小学校
- 参加人数：児童23名、先生6名、保護者4名



<現地レポート>

地元の漁師で、キッチンカーで採れた魚を調理し販売している千尋丸の平田さんに「かご漁」について教えていただき、実際にかご漁で採れた魚を持ってきていただきました。初めてかごを見た子供たちはかご漁について熱心に質問していました。

実際に採れた魚を見て、見たことある！釣ったことある！初めて見た！とそれぞれに活発に感想を述べてくれました。

海と日本プロジェクトinえひめ事務局が実際に大猿島と小猿島を訪れた際の動画を見て、本当に猿が座っているみたい！私も船に乗って実際に行ってみたい！など、実在する島にもとても興味を持ってくれました。

かご漁で採れたかわはぎを使った天ぷらを食べた子供たちは、とても美味しい！愛南町で採れる魚は何でも美味しいよ！等、自分たちの住む町の海の素晴らしさ、魚の美味しさを再認識したようでした。

実施概要

- 日 時：2023年5月14日（日）9：30～12：00
- 会 場：交流ひろばすさき（高知県須崎市南古市町6-3）
- 参加人数：子供21人、大人16人 37人



<現地レポート>

あいにくの雨でしたが、数多くの方に集まっていたいただき実施となりました。当日飛び入りもあり。八幡様の総代の方より、須崎八幡宮の歴史についてお話頂き、次いで事務局の柴田さんよりアニメ制作のポイントについて説明頂きました。（アニメを見た子供の意見より）須崎の神社と神様たちをアニメで面白く学べました。津波の怖さもありましたが、学校でも友達に、この昔ばなしを伝えてあげたいと思いました。面白いアニメを見れて楽しかったです。

実施概要

- 日時：2023年5月14日（日）10：00～11：00
- 会場：須崎八幡宮
- 参加人数：子供21人、大人16人 37人



<現地レポート>

雨模様の為、アニメの舞台となった須崎八幡宮へ見学。総代さんから、海との距離の近さを振り返りながら、津波が来た高さは、約3.7メートルで社事ごと流されていったこと。戻ってきた神輿は昔の素材を残しながら、作り直している事などの話を聞きました。

（参加の子供たちからの感想）

「子供のころからこの八幡宮の近くに住んでいたけれど、お神輿が流されたことや神様の事を知らなかったので今回学べてよかったです。次のお祭りの時には、アニメに出てきたお神輿を見てみたいと思います。」

「アニメの中でおみくじを引いて、神様が須崎に帰りたいといった所が凄く印象に残りました。」

実施概要

2023年2月14日（火）14：10～
県立松浦高校
1年生53人（商業科、地域科学科）



<現地レポート>

- ・現地の調査に行ったり、絵コンテや会議を通しーからアニメが作られているところが興味深かった。
- ・青島に行ったことがないので、アニメを見て行ってみたいとなった。
- ・この民話を知らなかったのでアニメが出来たおかげで知ることが出来ました。
- ・自分たちも地域の活性化の活動をしているので役立てたい。

実施概要

2023年3月3日（金）11：30～
松浦市 青島小中学校
54人



<現地レポート>

今日はお忙しい中私たちのためのこのような上映会を計画して下さりありがとうございました。
僕は小学生の頃から青島の歴史に関する話を聞いたり勉強したりしてきました。
今日のアニメーションを見て、短い時間なのに昔の青島の人たちが河太郎とどのように協力をしてきたか詳しく知ることができました。
また、制作の途中で工夫したことや大変だったことを聞いてとても貴重な体験ができました。
今日はありがとうございました。

実施概要

2023年3月3日 13:20～
松浦市 青島
13人



<現地レポート>

- 実際の岩を初めてみた。この下に河太郎がいるのかもと思うと不思議な感覚になる。
- 人々と河童が協力し合って工事をしたのかと思われる場所に立てて嬉しい
- 昔の人から現代に生きる人への、「人間と河童が共に手を取り合って協力しながら生きる」という想いを繋げることが未来をまた創っていくんだなと感じました。
- アニメで見た場所がここなんだと思うと不思議な感覚になりました。
- 知っていた場所だけど、アニメを見た後だとまた新鮮な気持ちになりました。

宮崎県延岡市（上映会）

実施概要

- 日 時：2023年2月17日(金)
- 会 場：延岡市立東海小学校
- 参加人数：小学5年生 32名



<現地レポート>

総合的な学習の時間で民話について学んでいるという子供たち。民話に対する興味や関心は授業で培ってきましたが、今回アニメ化した「琴姫の松」を見て、わかりやすく、アニメでしか出せない面白さがあって楽しかったと話していました。アニメに迫力を感じたようで、地震のシーンでは音に驚く児童もいました。アニメでよりわかりやすく津波への備えの大切さを学び、家に帰って今日のことを家族に話してこれからの生活に活かしたいや、アニメをおすすめしたいという感想もありました。今回の「琴姫の松」を見て、聞いて、学んだことで、地域に伝わる民話を「継承していきたい」や、「他の民話のことも知りたい」という思いを強く持ったようでした。

実施概要

- 日 時：2023年2月17日(金)
- 会 場：延岡市立東海小学校
- 参加人数：小学5年生 32名



<現地レポート>

新型コロナウイルスの影響で、霧島神社や琴姫の松を見に行く許可が学校側からおこななかったため、延岡をはじめ、各地の民話、伝説、歴史などを楽しく語り伝え、記録に残す活動を行っている「延岡の語り部 萌ぎの会」の会長山内さん（延岡市・海ノ民話のまち実行委員会）ら4名に来ていただき、民話を話してもらいました。総合的な学習の時間で民話を学んでいる子供たちは、琴姫の松をはじめとする民話を興味津々で聞いていました。「昔のお話だけど、今につながるものがあって面白い」や、「様々な民話について知ることができ、良い機会だった。これからも民話を継承していきたい」と話していました。

■北海道

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
北海道放送	サンデーキット	3月26日(日)	
北海道新聞	地域面	3月1日(水)	
函館新聞		2月20日(月)	



■千葉県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
チバテレ	モーニングこんぱす	3月3日6時45～	



■富山県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
北日本新聞社		3月4日(土) 朝刊	
富山新聞		3月4日(土) 朝刊	

氷見 「海ノ民話のまち」に認定された氷見市のアニメ「蛇が島の大蛇」の上映会が3日、地元の灘浦小学校で開かれ、4～6年生25人が地域の宝物という島の歴史や自然について学んだ。

児童は同市沖の県指定名勝・天然記念物の蛇が島にまつわる複数の伝承を脚色した5分半のアニメを観賞。市博物館の大野研究館長「写真右」から島で縄文期の石器や土器のかげらが見

蛇が島の歴史 アニメで学ぶ
灘浦小

つかっていることや高岡城の石垣の一部に島の石が使われていることを聞いた。島や周辺は自然の宝庫であることも学んだ。6年の高野優宏君は地元公民館主催の島の清掃活動に毎年参加しており「これからも島の自然を守っていききたい」と



氷見市の民話を題材にしたアニメ「蛇が島の大蛇」の上映会が3日、同市灘浦小で開かれた。4～6年生25人が校区中に暮らす

蛇が島アニメに興味 氷見・灘浦小で上映会

島を舞台にした物語を興味深げに見入った。物語は島に上陸してはいけないう蛇を破った若者が大蛇の卵を貰うストーリー。児童は「大蛇を見てみたい」「民話になるような歴史がある島のことをいろんな人知ってほしい」と感想を話した。

市立博物館の大野研究館長らが蛇が島の歴史や自然について説明した。日本財団の「海ノ民話のまちプロジェクト」の一環で、日本昔ばなし協会が制作した。

アニメを見た後、蛇が島の歴史を学ぶ児童
氷見市灘浦小



■山梨県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
山梨放送	YBSワイドニュース	2023/3/10	
山梨放送	海と日本プロジェクト inやまなし	2023/4/10	
山梨日日新聞社	山梨日日新聞		



民話題材アニメ 生徒13人が視聴
市川三郷町で上映会
市川三郷町に伝わる民話を題材にしたアニメ映画「娘に化けた大ウナギ」の上映会が9日、同町の上野小で開かれた。写真
日本各地の海にまつわる民話をアニメ化し、子どもたちに語り継ぐ日本財団の「海プロジェクト」の「娘に化けた大ウナギ」の実行委員会が企画した。「娘に化けた大ウナギ」が舞台。ウナギを大量に取るという若者たちのもとに、娘に化けた大ウナギが現れて漁を止めようとする物語になっている。
9日は、アニメ監督の沼田心之介さんが作務の舞台の地元のあまのうらまを訪問し、プロジェクトの目的などを説明した。8年生13人がアニメを視聴した。宇野助平さんは「川や魚を大切にしていきたいと思った。この作品を多くの人に知ってほしい」と感想を話した。(山本航巳)



掲載日: 2023年03月10日 / 地域 / 紙面頁023
報道・記事・写真・イラスト等の無断複製・転用は厳禁いたします。Copyright 山梨日日新聞社

■長野県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
番組 (NBS長野放送)	ふるさとライブ	4/14 (金) 15:20~15:45	
大町CATV		3/29(水)~4/4(火) 6:00~ 8:30~ 12:00~ 17:00~ 19:00~ 23:00~	

■ 島根県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
TSKさんいん中央テレビ	TSK news イット!	2023/03/26 17:30	
TSKさんいん中央テレビ	海と日本プロジェクト (応援動画)	2023/03/26 21:54	
石見銀山テレビ	ぎんテレ情報局	2023/03/27 17:00	
山陰中央新報		2023/03/09	
島根日日新聞		2023/03/16	



メディア露出

■ 島根県



■ 愛媛県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
南海放送	海と日本プロジェクトinえひめ	3月24日（金） 11:25-11:30	
愛媛CATV		確認中	

■高知県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
Yahoo news!		2023/5/15	https://news.yahoo.co.jp/articles/a33187daa48ecd404e293dab1558d23768d2fb7d
テレビ高知	Nスタ	2023/5/14 1730-1800	https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/484863?display=1
テレビ高知	KUTVニュース	2023/5/14 2254-2300	https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/484863?display=1



■長崎県

媒体名	番組名	掲載日/放送日時	URL
長崎新聞社		2023/3/9 (木)	



アニメ活用 商品開発

『最中パッケージ・群来羊羹』

商品データ

- 商品名：最中パッケージ・群来羊羹(オリジナル新開発商品)
- タイアップ先：株式会社五勝手屋本舗
- 販売場所：北海道江差町本店他
- 販売期間：最中(2023年5月～・群来羊羹2024年3月予定)

商品イメージ



『鮫クッキー』

商品データ

- 商品名：サメクッキー
- タイアップ先：手・まめ・館
- 販売場所：手・まめ・館
- 販売期間：2023/3/13～
- 総商品数：1000

■ 販売価格：540円

■ 賞味期限：30日以内

商品イメージ



『舞竜』

商品データ

- 商品名：舞竜
- タイアップ先：南房総 和菓子「盛栄堂」 ■ 販売場所：〒299-2522 千葉県南房総市安馬谷1984
- 販売期間：2023年4月上旬（予定）～当面の間
- 総商品数：期間限定商品ではない為、個数は定まっています。 ■ 販売価格：1個220円（税込）
- 賞味期限：1週間 ■ 販売方法：店頭販売のみで、オンライン販売は現状は予定なし

商品イメージ



『灘浦みかんのブッセとふわふわ』

商品データ

- 商品名：灘浦みかんのブッセとふわふわ ～虻が島の大蛇～
- タイアップ先：次郎平
- 販売場所：次郎平 大野店（富山県氷見市大野字浦1244）
- 販売期間：2023年3月20日（月）～ ※商品が無くなるまで
- 総商品数：100個 ■ 販売価格：1,460円 ■ 賞味期限：灘浦みかんのブッセ 5日間/ふわふわ14日間

商品イメージ



『オリジナル饅頭』

商品データ

- 商品名：毒饅頭がモチーフ？海ノ民話オリジナル饅頭
- タイアップ先：太田屋
- 販売場所：太田屋（山梨県西八代郡市川三郷町市川大門612）
- 販売期間：2023年4月～
- 総商品数：150個（予定）

商品イメージ



『付箋』

商品データ

- 商品名：付箋
- タイアップ先：大糸線ゆう浪漫委員会（大町市観光協会）
- 販売場所：駅構内または大町市内のお土産屋さん（未定）
- 販売期間：2023年4月以降

※現在は、リゾートビューふるさと等JRを活用した観光誘客事業の一環で、大宮駅や大阪、横浜などで行われる誘客キャンペーンでのノベルティとして活用する他、その後順次駅構内や市内のお土産屋さん等で販売できるよう、整えていく予定。

- 総商品数：約1000個 ※既に増刷予定

商品イメージ



『あさりとつくだ煮としょうがのごはんじゅれ/篠島しらすつくだ煮と明太子のごはんじゅれ』

商品データ

- 商品名：愛知丸が釣ったあさりとつくだ煮としょうがのごはんじゅれ/篠島しらすつくだ煮と明太子のごはんじゅれ
- タイアップ先：平松食品
- 販売場所：平松食品直営店2店舗、イオンモール豊川専門店街「豊穰屋」ほか
- 販売期間：3月27日～4月30日頃まで

商品イメージ



『逢坂の関 走り餅』

商品データ

- 商品名：逢坂の関 走り餅
- タイアップ先：井筒八ッ橋本舗
- 販売場所：井筒八ッ橋本舗 追分店 ほか
- 販売期間：4月ごろ予定
- 賞味期限：2週間ほど

商品イメージ



『島根県産天然板ワカメ』

商品データ

- 商品名：島根県産天然板ワカメ
- タイアップ先：(株) 渡邊水産食品
- 販売場所：道の駅 ごいせ仁摩、神楽の里 舞乃市、
- 販売期間：2023年3月20日（月曜日）頃から無期限で販売中
- 総商品数：500個
- 販売価格：700円（税別）
- 賞味期限：2024年1月

商品イメージ

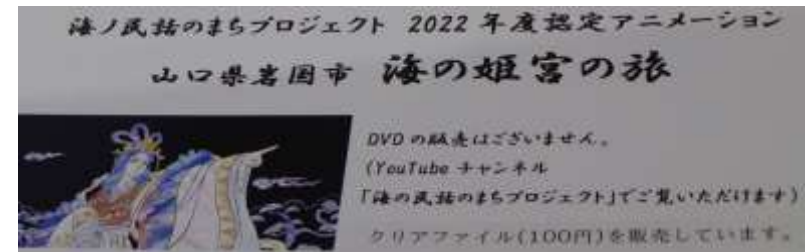


『オリジナルクリアファイル』

商品データ

- 商品名：「海の姫宮の旅」オリジナルクリアファイル
- タイアップ先：岩国徴古館
- 販売場所：岩国徴古館
- 販売期間：3/15(水)～売り切れまで
- 総商品数：900部
- 販売価格：100円

商品イメージ



『ランチセット』

商品データ

- 商品名：このしろばあさんランチセット（仮）
- タイアップ先：松茂町
- 販売場所：八芳園（徳島県板野郡松茂町・マスシゲート内）
- 販売期間：3月12日～終了期間未定
- 総商品数：未定 ■ 販売価格：800円 ■ 賞味期限：当日

商品イメージ



『キッチンカー』

商品データ

- 連携先：千尋丸
 - 実施場所：
 - 実施日時もしくは期間：2023年4月
- ※2023年3月完成予定。県内全域のイベント中心に、稼働を予定。

商品イメージ



『キッチンカー』



『須崎八幡様饅頭』

商品データ

- 商品名：須崎八幡様饅頭
- タイアップ先：梅原晴雲堂
- 販売場所：梅原晴雲堂
- 販売期間：2023年5月14日（日）～2023年5月28日（日）
- 総商品数：100セット
- 販売価格：¥ 700-
- 賞味期限：10日間

商品イメージ



『須崎八幡様×丸共味噌醤油醸造場コラボあわせ味噌』

商品データ

- 商品名：須崎八幡様×丸共味噌醤油醸造場コラボあわせ味噌
- タイアップ先：丸共味噌醤油醸造場
- 販売場所：丸共味噌醤油醸造場、須崎大漁堂
- 販売期間：2023年5月14日（日）～2023年5月28日（日）
- 総商品数：100セット
- 販売価格：¥600-
- 賞味期限：5か月間～

商品イメージ



『地元高校生とのコラボ商品（開発中）』『自動販売機にデザイン採用（予定）』

商品データ

商品イメージ

【地元高校生とのコラボ商品（開発中）】

松浦高校地域科学科2年生の男子生徒4名によるチームが現在、授業の一環として取り組んでいます。
※2023年秋、商品発表（予定）

【自動販売機にデザイン採用（予定）】

松浦町「海ノ民話のまちプロジェクト実行委員会」の一員である藤田英敏氏（2023年春、松浦商工会議所事務局長を退職）が地元水産加工品を販売する自動販売機事業を創業。
その商品や、自動販売機そのもののデザインに海ノ民話アニメーションのキャラクターを活用する予定です。
※2023年秋の事業開始に合わせて展開（予定）

『ともうすかつちん』

商品データ

- 商品名：延岡の民話語り菓子「ともうすかつちん」
- タイアップ先：風の菓子 虎彦
- 販売場所：宮崎県延岡市幸町1-20
- 販売期間：2023年4月以降を予定
- 総商品数：1ヶ月平均100個を予定
- 販売価格：160円
- 賞味期限：1ヶ月

商品イメージ



アニメ活用 二次的展開

連携先	札幌駅前通まちづくり株式会社	実施場所	チ・カ・ホ:札幌駅前通地下広場
展開内容	札幌市地下歩行空間(チ・カ・ホ)で開催される北海道物産展の江差町ブースにて、海ノ民話アニメーションを常時放映 2023年2月28日(1日間)		

展開写真



連携先	江差町	実施場所	旧檜山爾志郡役所（江差町郷土資料館）
展開内容	旧檜山爾志郡役所（江差町郷土資料館）の展示資料室において常設展示		

展開写真



連携先	南房総 和菓子「盛栄堂」	実施場所	〒299-2522 千葉県南房総市安馬谷1984
展開内容	店内にモニターを設置し、上映。上映にあわせて、チラシの掲示、配布、コラボ商品「竜舞」の販売。 2023年3月～当面の間		

展開写真



連携先	富浦小学校	実施場所	南房総市富浦町原岡931
展開内容	民話「竜王の子の約束」の舞台である富浦小学校の図書館にて、DVDの貸し出し 2023年3月以降（予定）		
連携先	南房総市	実施場所	南房総市役所本庁舎
展開内容	南房総市役所ロビーのモニターにて期間限定上映予定 2023年3月以降（予定）		

連携先	氷見市立博物館	実施場所	氷見市立博物館内 上映スペース
展開内容	視聴希望者に氷見市立博物館内でアニメを上映 氷見市立灘浦小学校での上映会等、授業の様子を交えたA1ポスターを掲示 2023年3月20日（月）～		

展開写真



連携先	氷見市漁業文化交流センター	実施場所	氷見市漁業文化交流センター内
展開内容	氷見市漁業文化交流センター内でアニメを上映 氷見市立灘浦小学校での上映会等、授業の様子を交えたA1ポスターを掲示 2023年3月30日（月）～		

展開写真



連携先	大田市観光協会	実施場所	道の駅 ごいせ仁摩
展開内容	大田市観光協会にご協力いただき、道の駅「ごいせ仁摩」の情報コーナーに設置されているモニターにて、アニメ放映（ループ再生）を実施中。 ※隣接する物販コーナーでは、オリジナル商品（板ワカメ）を販売中。 2023年3月20日～無期限で実施中		

展開写真



連携先	岩国市観光協会	実施場所	WEB上
展開内容	(一社) 岩国市観光協会では、令和5年2月2日より、同協会ホームページ内【観光動画】サイトにて、海ノ民話のまちプロジェクトyoutubeチャンネルを掲載。 2023年2月2日(木)～		

展開写真



<p>連携先</p>	<p>岩国市</p>	<p>実施場所</p>	<p>岩国市中央図書館展示ホール</p>
<p>展開内容</p>	<p>岩国市の中央図書館展示ホールにおいて、来場者対象に鑑賞会を実施した。 お住いの近くに衣掛松がある方は「看板よりもわかりやすいね」と感想をおっしゃっていました。 3月11日（土）～12日（日）</p>		

展開写真





海ノ民話 アニメ上映会2022

海ノ民話アニメーション上映会2022

- 名称 「海ノ民話アニメーション上映会」2022
- 主催 一般社団法人日本昔ばなし協会
- 共催 日本財団「海と日本プロジェクト」
- 開催目的 プロジェクト発足から積み上げてきたアニメ42作品を一挙公開すると共に、民話の存在意義や利活用について語り合い、次年度へ向けた新たな施策づくりに生かす
- 開催内容 これまで制作したアニメーションの上映会に付随し、日本財団、各分野の有識者をゲストに招き民話を考えるトークショーを実施。
- 実施日時 2022年1月22日 10:30～17:00 (1部 | 受付10:00～ 2部 | 受付13:30～)
- 実施場所 WITH HARAJUKU HALL 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1丁目14-30
- 参加方法 1部 | 完全事前受付 / 2部 | 事前受付・当日受付
- 視聴対象 ①一般視聴者 ②44のテレビ局を中心とする「海と日本プロジェクト」関係メディア・一般メディア
- 配信 海ノ民話のまちプロジェクトYouTubeアカウントでリアル配信 (アーカイブあり)
<https://youtu.be/RTywAqALIPo>

■ 1部前半

- ・ オープニング
- ・ 「海ノ民話のまちプロジェクト」の軌跡Ⅰ・Ⅱ
- ・ 地域連携から生まれる新たな民話活用の可能性Ⅰ・Ⅱ

■ 1部後半

【学習要素のあるアニメーション5作品上映】

- ・ トークテーマ①語り継がれる民話のチカラ

【土地の成り立ちや地名に由来のあるアニメーション5作品上映】

- ・ トークテーマ②地域を豊かにする海文化

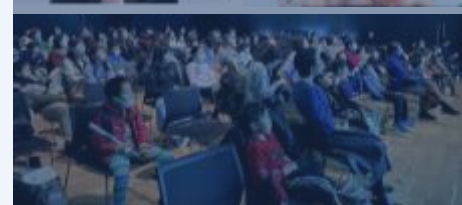
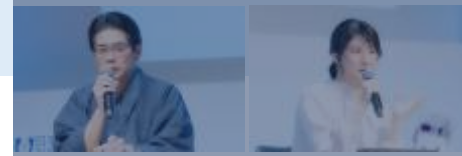
【制作過程で技術的にこだわったアニメーション5作品上映】

- ・ トークテーマ③アニメ芸術としての民話

- ・ 1部エンディング 今後の展望

■ 2部

- ・ 海ノ民話アニメーション旧作15作品上映
- ・ 海ノ民話アニメーション新作12作品上映



作品上映とあわせて女優・作家・歌手の中江有里さん、桃太郎を研究し出版した中学生、海女さん、アニメ監督や人気声優さん他、多彩なゲストが民話活用の可能性を語った。

プロジェクト実施の理由やアニメーションにした背景について紹介

日本財団笹川会長より会場へ向けたメッセージビデオ

海ノ民話が地域で活用された事例を紹介



テーマ①語り継がれる民話のチカラ
～教育の視点から民話を考える～

テーマ②地域を豊かにする海文化
～建築と海女漁の視点から語る～

テーマ③アニメ芸術としての民話
～人気声優が会場であフレコ披露～

初公開新作アニメを含め、
これまでに制作したアニメを上映



■ポスター・チラシ表



■チラシ裏 (1部)



■チラシ裏 (2部)



■舞台装飾



■ホワイエ-バックパネル



■ホワイエ-柱装飾



一般来場174名（一部69名/2部105名） エリア事務局含むメディア23社

■ 来場者からの声

- ・ 短い物語だから子どもも飽きず、最後まで楽しみながらみることができた。
- ・ 小学校低学年でもアニメの話が理解でき、とてもわかりやすい構成だった。
- ・ 聞きなれない方言やことばの意味について、子供が何度も尋ねてきて、興味を持ってくれた。
- ・ 学校現場で活用してほしい。
- ・ アニメに出てきた場所へ実際に行ってみたい。
- ・ 自然の恐ろしさや豊かさなど多くを学ぶことができた。
- ・ 夏休みの自由研究で、地元の海の民話を調べてみたいと思った。
- ・ 同じ海でも地域によって違った捉え方をされていてとても興味深かった。

TV 7本 WEB 101本 新聞 5紙 掲載

<テレビ放送>

■高知県
からふる (1/23月)



■富山県
ライブBBT (1/23月)



■愛媛県
ニュース チャンネル 4 (1/27金)



<新聞>

■日刊水産経済新聞 (2/6月)



■愛媛新聞 (1/23月)



■長崎新聞 (1/23月)

民話を活用した 学校授業

日時	2022年11月10日（木）、11日（金）
会場	宮窪小学校、常盤小学校、乃万小学校
対象	宮窪小学校（5年生12人）、常盤小学校（5年生92人）、乃万小学校（5年生119人）
科目	理科
講師	お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 特任講師 里浩彰
授業構成内容	<p>■ 授業タイトル 身近な海のことをもっと知ろう！～クジラのお礼まいりから学ぶ海のあれこれ～</p> <p>■ 使用した民話 クジラのお礼まいり（愛媛県今治市に伝わる民話） 〈あらすじ〉 四国と本州をつなぐ瀬戸内しまなみ海道沿いにある鯛崎島で、潮が引いた磯に取り残されたクジラを、お地蔵さまと魚たちが協力して助けると、それから毎年クジラが群れでお礼まいりに訪れるようになった。</p> <p>■ 授業の目標 ①潮の満ち引きが起きる仕組みについて理解し、来島海峡付近や瀬戸内海の特徴について知る。 ②くじらの特徴について理解し、くじらや海の生き物について興味・関心を高める。</p> <p>■ 授業構成 ・身近な海に目を向けてみよう ・クジラのお礼まいりアニメーション市長 ・どうして潮は満ち引きするの？ ・くじらについて学ぼう ・まとめ</p>

授業の様子



参加者の感想

【児童】

- ・今治には潮の満ち引きの差が大きいという海の特徴があることを初めて知った。地元なのにまだまだ知らないことがあってもっと地元の海を知りたくなったし、今からでも海に行きたい！

【校長先生】

- ・子どもたちにとってとても良い時間となった。物語の中で今治のことを好きになってもらえる要素が盛り込まれており、海への関心を持つことができた内容だった。アニメーションを使用することで、興味関心を持った状態で授業を受けることができた。

【今治市長】

気付きと学びがたくさんある授業だった。海は近くにあるが、知ろうとしないと得られない海の現状まで里先生の分かりやすい講義で取り上げていただいた。

【講師 里浩彰さん】

今回使用した海ノ民話アニメはどれも5~6分程度で、授業の導入部分に使用するのにとっても使いやすいと感じた。

民話は、地元根付いたものであり、そこから文化や教訓を学べる教科書的な役割も果たしているため、ただアニメを見て楽しいだけでなく、そこから学びを抽出して伝えてあげることが地域にとっても大事なことであった。

調査編集事業

民話の可能性を探るため、異業種・異分野の有識者にインタビューを実施 海ノ民話のまちプロジェクト公式Webサイトで記事化

1	東北大学災害科学国際研究所 シニア研究員	川島秀一
2	成城大学文芸学部文化史学科 教授	小島孝夫
3	國學院大學文学部日本文学科 教授	飯倉義之 ※インタビューのみ
4	お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 特任講師	里浩彰
5	大手前大学 建築&芸術学部 講師	下田元毅
6	発酵料理研究家	高木佐知子
7	株式会社ママカラ代表	真鍋摩緒
8	合同会社吉本アートファクトリー代表	吉本大輝
9	声優	富田康代
10	声優	四宮豪
11	鳳蝶流家元師範	鳳蝶美成
12	着付け講師	上嶋たみえ
13	大津漁協組合長	中村純也
14	「海の宝！水産女子元気プロジェクト」メンバー 海女	小寺めぐみ
15	JF全国漁青連会長理事	川畑友和
16	株式会社富川屋代表	富川岳
17	学生（桃太郎博士）	倉持よつば
18	女優・作家・歌手	中江有里

異業種・異分野インタビュー Web掲載記事

2023年12月19日

フルカラー3Dプリンターの第一人者が「海ノ民話」に提示する新たな可能性とは

有隣堂コラム



数年前よりブームとなった3Dプリンターは、従来の白3Dデータを基に立体的な造形を作り出す機械だ。最近では多様な造型に変わる新技術として注目されている。また、比較的安価なものが販売されているので、自由にフィギュアを作るといった趣味や仕事で導入する人も増えている。

兵庫県三田市で3D製造（3Dデータ作成・3Dプリンター出力・3DCAO設計）の事業を行っている合同会社吉本アートファクトリー代表の吉本大輝さんに、3Dプリンターの得意分野について聞いた。

平面的魅力を立体物に落とし込むことを重視 フルカラー3Dプリンターを活用し美術館とも連携

——まず3Dプリンターについて教えてください。

3Dプリンターには、さまざまな方法や種類があります。金型で、一般の方に馴染みがある3Dプリンターは、フィラメント（プラスチック）を溶かし出して押し出される方式の積層造形（FDM）方式の3Dプリンターが一般的です。フィラメントと呼ばれるプラスチックの糸を溶かし出して押し出される方式の積層造形（FDM）方式の3Dプリンターが一般的です。



そのほかには、粉末状の材料をレーザー光で溶かし出して押し出される方式の積層造形（SLS）方式の3Dプリンターや、液体状の材料をレーザー光で溶かし出して押し出される方式の積層造形（SLA）方式の3Dプリンターなどがあります。

そして最新の技術として注目されているのが、フルカラー3Dプリンターです。フィラメントタイプは黒色や白色が主流ですが、フルカラー3Dプリンターは、カラーデータも対応しています。しかもフルカラー3Dプリンターは、データ入力したものが、そのまま出力されるという特徴があります。材料としては、樹脂製のインクジェットプリンターと同じようなもので、インクをどろどろと溶かし出して、押し出される方式の積層造形（FDM）方式の3Dプリンター、あるいはインクジェットプリンターによる、100%樹脂製の積層造形（SLS）方式の3Dプリンターなどがあります。

——3Dプリンターは、工業用設備用に高いイメージでしょうか。

確かに昔にはとても大きなものであり、操作も複雑な印象があります。一方、安価なものであれば、フィラメントタイプなどは数万円から購入できるものもあります。

——アニメーションのキャラクターなど、高々3Dであるものを3Dにするには、多くの差別があると思います。吉本さんが注目している領域を教えてください。

2023年12月19日

「海ノ民話アニメーション」声優が語る。読み聞かせと民話の親和性

有隣堂コラム



日本各地の海の民話をアニメにして子どもたちに伝え続ける「海ノ民話のまちプロジェクト」。その魅力を語る「海ノ民話アニメーション」の制作陣より声を聴いているのが、同プロジェクトに所属する宮崎 香織さん。たった2人で、ナレーションをはじめ、演出やそのほか、絵や挿絵など、様々なキャラクターに命を吹き込むという作業を担っている。

「赤ちゃんから大人まで読本を楽しもう！」をコンセプトとする読み聞かせ団体「日かんぽーく」の主要メンバーでもおられる方に、読本と現代の子どもの親和性などについて聞いた。

読み聞かせは対面での 双方向コミュニケーション

——「日かんぽーく」のコンセプトや活動内容についてお話を教えてください。

宮崎 体と富田さんの所属している声優プロジェクト「海ノ民話プロジェクト」の所属するメンバーとして読み聞かせを行う活動として参加しています。赤ちゃんから子どもまで読み聞かせをしています。お母さんやお父さんだけでなく、祖父母やおじいちゃん、おばあちゃんなど、いろいろな世代の方にも読んでいただいています。



宮崎 声優仲間が、ママになって子育てで忙しすぎてなかなかの家事に手が回らない人が増えていっています。そんな中でママやパパも忙しすぎてなかなかの家事に手が回らない人が増えていっています。そんな中でママやパパも忙しすぎてなかなかの家事に手が回らない人が増えていっています。

宮崎 立ち上げがマザーズセンターも子どもさんが多い。子どもを連れていく場所がない。1〜2歳まで目を離してはいけない」といった、お母さんたちの悩みをリアルに感じ、「どうしたらいいかな」と考えているママさんやパパさん、おじいちゃんやおばあちゃんなど、いろいろな世代の方にも読んでいただいています。

宮崎 そんなのですが、やっぱり、小さな子どもさんが多い。子どもを連れていく場所がない。1〜2歳まで目を離してはいけない」といった、お母さんたちの悩みをリアルに感じ、「どうしたらいいかな」と考えているママさんやパパさん、おじいちゃんやおばあちゃんなど、いろいろな世代の方にも読んでいただいています。

宮崎 声優プロジェクトが注目しているのは、絵本に比べて少ないフィラメントの色と読み聞かせが揃っているという点です。また、フィラメントの色が揃っているという点です。また、フィラメントの色が揃っているという点です。

■ 声優 富田康代
■ 声優 四宮豪

2023年12月19日

アニソンに合わせて「盆踊り」！ 伝統を継承しつつ伝承していくカギは「踊りの楽しさ」

有隣堂コラム



関西圏にアニソンが盛況する中で、宮崎さんには馴染み深い「盆踊り」も盛況しているのではないかと。そんな思いから「盆踊りコンサート」を企画された。盆踊りコンサートの開催地は、兵庫県元町にある舞臺芸術館に会場を移した。

地域交流や活性化へ役割が変化 踊る曲も時代に合わせ多様化

——盆踊りとは、そもそもどういうものなのでしょうか？

宮崎 「盆踊り」は、お盆の日に盆を踊るという文化は、古くからあったようです。その盆踊り文化は、一貫して「盆踊り」を踊る文化として受け継がれてきました。お盆の日に盆を踊るという文化は、古くからあったようです。その盆踊り文化は、一貫して「盆踊り」を踊る文化として受け継がれてきました。

さらに、盆踊りの曲も時代に合わせて変化しています。盆踊りの曲も時代に合わせて変化しています。盆踊りの曲も時代に合わせて変化しています。

盆踊りの曲も時代に合わせて変化しています。盆踊りの曲も時代に合わせて変化しています。盆踊りの曲も時代に合わせて変化しています。



——盆踊りの振付師と現状を教えてください。

宮崎 数は、2018年頃の調査によると、全国で約3000〜4000件ほどです。関西圏は特に盛況で、盆踊りの振付師も増えています。盆踊りの振付師も増えています。盆踊りの振付師も増えています。

■ 合同会社吉本アートファクトリー代表 吉本大輝

■ 鳳蝶流家元師範 鳳蝶美成

2023年06月22日

「海ノ民話」に見る可能性 「ビブリオバトル」ならぬ「民話バトル」を

報道コラム



日本各地の海の民話をアニメにして子どもたちに伝え続ける「海ノ民話のまちプロジェクト」。2018年より一財団法人日本海なし協会が推進し、アニメ化を通じて民話を盛り込んだ地域づくりが実施されている。6月22日（日）に開催した「海ノ民話アニメーション上映会2022」には、作品上映に加えて女優・作家・歌手の中江有里さんも登壇し、日本財団の陶野晃司常務理事と共に「海ノ民話のまちプロジェクト」の発展をたどりながら、プロジェクトの意義についても語り合った。イベント終了後、中江さんに「海ノ民話のまちプロジェクト」へ感じる思いを聞いた。

速回りでも多角的な視野を培う 民話が果たす役割の重要性

—「海ノ民話アニメーション上映会2022」にご出席してのご感想は？

日本各地に、それぞれ民話が残っていることは知っていましたが、海に特化した「海ノ民話」というのもお見聞したことありませんでした。当夜の上映会への参加を前に、YouTubeで公開されている作品をいろいろ拝見して「こんなに色んな民話があるんだな」ということを先知ることができました。上映会では、民話の文化を伝えるという目的で海産物の調理師の議員さんといった現場の方々の話も聞くことができて、アニメ制作という側面から聞ける大変なプロジェクトなんだということもあらためて実感しました。

—「海ノ民話アニメーション」を推進されての経験はありますか？

「お勉強になったウツワ」が広がる地域は限らずに行っていることあるんです。国の天然記念物の鳥獣図が本誌と関係が深く、早くお勉強していただく。関係者だけでなく、生活人類と天竺鼠や動物地方を一緒に遊んでいる中々まだまだとどろいて。本誌と競争して勝負をしようとしておのれができたという話も聞かれています。そんなお話を語りだされていまして、とてもいいなと感心しました。本誌明を助けると、誰もが「みんなお勉強お勉強」が、お勉強お勉強と口を動かしてとらう」と不思議に思っていました。そこに海産物関係というストーリーをもちまして、最終的に「お勉強お勉強が大事だわ」という旨意を知るという流れは、結構おもしろいと感じています。私はお勉強の方が、お勉強をよく聞かせると思っております。

—子どもたちに対する民話の役割はどのようなものだと感じますか？

子どもたちに「民話をやってほいほいほい」とお勉強の「民話」を通して「ルールを決まってるから」「ルールを決まってるから」とお勉強しているから」とお勉強の、お勉強がもしもお勉強がなくてもお勉強のことで、お勉強がそのお勉強を聞かしている

■女優・作家・歌手 中江有里

パブリシティ

全国各種メディアで1779回 紹介 TV 60本 新聞 75紙 WEB 1644記事

<テレビ放送>



■富山県：富山テレビ「ライブBBT」



■長崎県：テレビ長崎「マルッと！」



■山口県：山口放送「KRYニュースライブ」



■愛媛県：南海放送「NEWS CH.4」



■長野県：長野放送「海につながる長野県」

- 北海道：HBC北海道放送「グッチーナ！」
- 栃木県：とちぎテレビ「イブ6+」
- 千葉県：千葉テレビ「モーニングこんぱす」
- 東京都：BSテレビ東京「みんなのあおいろ」
- 福井県：福井テレビ「CHOICE！」
- 山梨県：山梨放送「やまなしマルシェ」
- 長野県：長野放送「NBSみんなの信州サキドリ」
- 愛知県：テレビ愛知「キン・ドニーチ」
- 滋賀県：びわ湖放送「海と日本プロジェクトin 滋賀県」
- 和歌山県：テレビ和歌山「6 waka イブニング」
- 鳥取県：日本海テレビ「SEA TOTTORI2022～もっと知りたい！ふるさとの海～」
- 宮崎県：宮崎放送「Check！」 他

メディア露出

<新聞>

■高知新聞 (7/1)



■福島民報 (9/27)



■東日新聞 (7/6)



■東京新聞千葉中央 (8/6)



■産経新聞東京 (1/23)



■富山新聞 (8/4)



■山梨日日新聞 (2/1)



お家の水女子大の児童史料 ちす道坂の成り立ちを知る
 任講師は、「一つの作品にさくだけてはななく、他の地域と比
 ませるようなメッセージが込められている教材にも生かしても
 られている、自分たちを誇らうたい」と話した。

TV 60本 新聞 75紙 WEB 1644記事

<p>TV・・・放送局一覧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道放送 ・福島中央テレビ ・千葉テレビ ・テレビ神奈川 ・福井テレビ ・長野放送 ・びわ湖放送 ・日本海テレビ ・山口放送 ・南海放送 ・テレビ長崎 ・テレビユー山形 ・とちぎテレビ ・BSテレビ東京 ・富山テレビ ・山梨放送 ・テレビ愛知 ・テレビ和歌山 ・さんいん中央テレビ ・四国放送 ・テレビ高知 ・宮崎放送
<p>新聞・・・新聞社一覧</p>	<p>https://storyteller.box.com/s/tec7hn0vjm6tkcjhbx1vxywmqrjm8p4</p>

TV 60本 新聞 75紙 WEB 1644記事

WEB・・・メディア一覧	https://storyteller.box.com/s/7i3c387qzUU32a1ns80phj8wiq4lzmuq
WEB・新聞 ・・・クリッピング	https://storyteller.box.com/s/36whlbiF2oou4xftturwsqhw0sr1upjk